NTT

Netcommunity SYSTEM

BXII

取扱説明書

留守番停電電話機

ナンバー・ディスプレイ
ネーム・ディスプレイ
対応

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 留守番電話を使う
4 リモコン操作する
5 用件を転送する
6 より便利に使う
7 ご参考に

このたびは、ネットコミュニティシステム BXII 留守番停電電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- ●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品
BX2-IRPTEL-〈1〉
BX2-ARPTEL-〈1〉

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意
本商品は、クラスA情報技術装置です。本商品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

ご使用にあたってのお願い

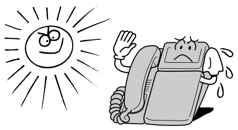
- ●本商品は、ネットコミュニティシステム　BXⅡシステムに接続してお使いください。
- ●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（☛P6）にしたがって消去願います。
- ●本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- ●電話機操作について操作早見表をご使用の際は、必ず本書をよく読み理解したうえでお使いください。
- ●本書とともに必ず、ご使用になっているネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- ●商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

設置について

⚠ 警告

● 本商品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ・直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

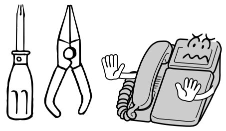


お取り扱いについて

⚠ 警告

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



● 本商品に水をかけたり、ぬれた手での操作や電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本商品の電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電話機コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電話機コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

お取り扱いについて（つづき）

⚠ 警告

- 本商品の電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり、破損した場合は、すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 本商品や電話機コードを熱器具に近づけないでください。本商品や電話機コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。電話機コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

設置について

⚠ 注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
  - ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
  - ・振動、衝撃の多い場所。

- 本商品を壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

お取り扱いについて

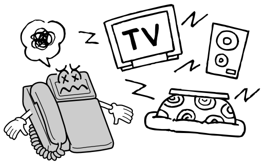
⚠ 注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電話機の受話増機能を使って、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置について

STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について（つづき）

お願い

- 本商品は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

お願い

- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

- 本商品は停電のときも外線の発着信・通話が可能です。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- ハンドセットを逆方向に置かないでください。正常に動作できないことがあります。
- 110番、119番、118番などからの緊急呼び返しを受けた場合でも、留守番電話が応答してしまうことがあります。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

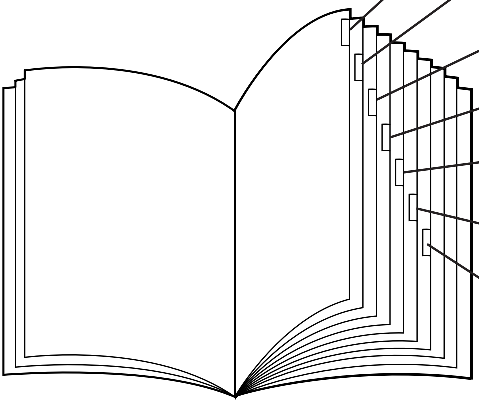
本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を下表にしたがって消去願います。

記　録　内　容	処　　置
電話帳	ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。
ワンタッチダイヤル	
再ダイヤル	
着信履歴	
留守転送先電話番号	P35を参照してください。
留守用件メッセージ	用件全消去を行ってください。（☛P44）
通話中録音	
応答メッセージ録音	P27を参照してください。
リモート暗証番号	P29を参照してください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプに接続した場合にご利用になれる留守番機能とリモコン操作について説明しています。電話をかけたり受けたりする操作、その他の機能や登録・設定については、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書の標準電話機の操作と同じですので、合わせてご覧ください。

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 留守番電話を使う
留守番電話を使うための手順を説明しています。

4 リモコン操作する
外出先などからリモコン操作をする手順を説明しています。

5 用件を転送する
留守番電話の用件を外出先へ転送するための手順を説明しています。

6 より便利に使う
1～5章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

7 ご参考に
オプションの説明、設置と接続の方法、故障かな?と思ったときの確認方法などをご参考として説明しています。

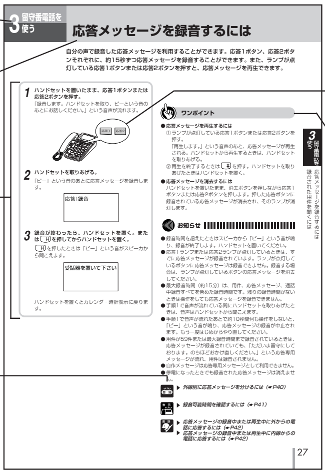
操作説明のページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明します。

Q&A参照アイコン
第6章「Q&A」の同じアイコンの項に、説明や操作方法が書かれていることを示します。



電話機イラスト
操作で使うボタンなどの位置を示します。

ワンポイント/お知らせ/お願い/プラスα

〈ワンポイント〉
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

〈プラスα〉
関連する操作について説明します。

お知らせ

● 本文中のシステム設定とは、システム設置時にあらかじめ工事者が登録・設定することを示します。

目　次

安全にお使いいただくために
必ずお読みください …… 2
この取扱説明書の見かた …… 7

1 お使いになる前に

特長 …… 9
セットを確認してください …… 10
各部の名前 …… 11
メニューの操作について …… 19
メニューの項目の選択方法 …… 19
メニュー画面での操作のしかた …… 19

2 電話をかける／受ける

電話をかけたり、受けたりするには …… 20

3 留守番電話を使う

留守番電話として使うには …… 21
留守番電話を便利に使うには …… 22
留守番電話の便利な使いかた …… 22
留守番電話をセットするには …… 24
留守番電話を解除するには …… 25
録音された用件を聞くには …… 26
応答メッセージを録音するには …… 27

4 リモコン操作する

リモコン操作でできること …… 28
リモート暗証番号を登録するには …… 29
外出先から用件を聞くには …… 30
対話形式でリモコン操作をする …… 30
番号でリモコン操作をする
（ダイレクトリモコン） …… 32
番号でできるリモコン操作
（ダイレクトリモコン操作番号） …… 33

5 用件を転送する

用件を外出先へ転送するには(転送) …… 34
転送とは …… 34
用件の転送先を登録してセットするには …… 35
転送先で用件を受けるには …… 36

6 より便利に使う

より便利に使うには …… 37
Q＆A …… 38
いろいろな音量を調節する …… 38
その他の機能を使う …… 40
メニューの流れ（留守設定） …… 43
いろいろな機能を登録・設定するには（留守設定） …… 44

7 ご参考に

オプションをご利用になるには／
付属品をご利用になるには …… 46
設置と接続について …… 47
こんな音がしたら …… 48
停電になったときは …… 49
故障かな？と思ったら …… 52
索引 …… 55
操作早見表 …… 57
リモコンカード …… 59
仕様 …… 61
保守サービスのご案内 …… 62

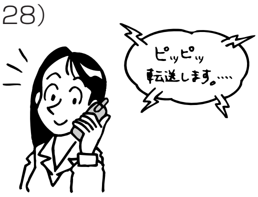
特　長

すぐに使える留守番電話

応答メッセージなどの準備をしなくてもすぐに留守番電話として使えます。（☛P21）

便利なリモコン操作

外出先からリモコン操作で、留守番電話をセットしたり、留守中に録音された用件を聞くことができます。（☛P28）

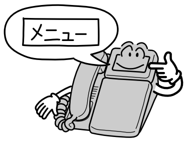


2種類の録音応答メッセージ

自分の声で応答メッセージを2種類録音することができます。平日用と休日用、昼間用と夜間用など、応答メッセージの使い分けができます。（☛P27）

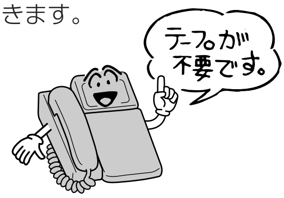
メニューによる簡単設定

留守番停電電話機のディスプレイを見ながら、メニュー形式で留守番機能などいろいろな登録・設定が簡単に行えます。漢字やひらがなも表示することができます。（☛P43）



ディジタル録音

ディジタル録音方式だからカセットテープが不要で、しかも送り、戻しが速く、すぐにメッセージの再生ができます。



ナンバー・ディスプレイ/ネーム・ディスプレイに対応

かかってきた相手先の電話番号や名前を画面に表示できるサービス（有料）に対応しています。
詳しくは、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

停電時でも発信、着信が可能

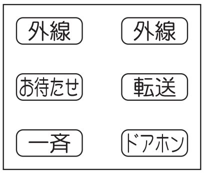
停電になっても、電話をかけたり、受けたりすることができます。（☛P49）

セットを確認してください

■本体（1台）

アナログ回線用／ISDN回線用

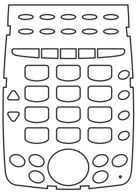
■付属品



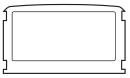
電話機用シール
（1枚）

「NTT通信機器お取扱
相談センタ」シール
（1枚）

取扱説明書
（1部）



テンキーシート
（ダークシルバー　1枚
オレンジ　1枚）



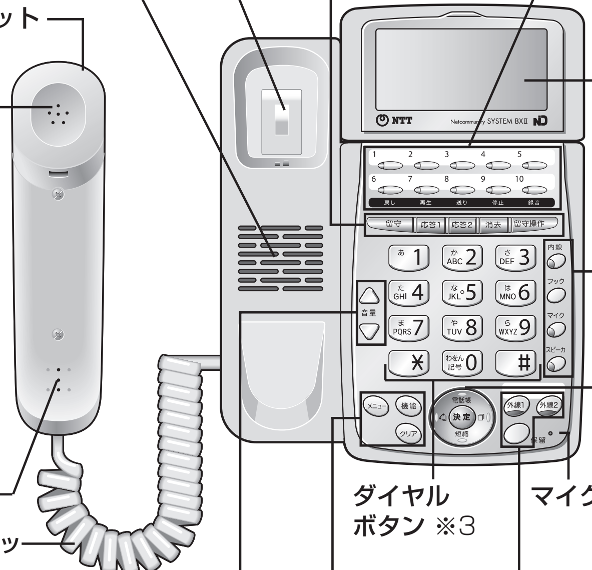
ディスプレイシート
（ダークシルバー　1枚
オレンジ　1枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

留守番停電電話機（アナログ回線用／ISDN回線用）

留守ボタン
留守をセットまたは解除するときに使います。（☛P24、25）
応答1ボタン
応答2ボタン
応答メッセージ1または応答メッセージ2を録音／再生するときなどに使います。（☛P27）
また、応答メッセージ1または応答メッセージ2で留守セットするときに使います。（☛P24）
消去ボタン
応答メッセージ1、応答メッセージ2、用件を消去するときなどに使います。（☛P26、27）
留守操作ボタン
フレキシブルボタンを留守操作（用件の戻し、再生、送り、停止、メッセージの録音など）に使えるモードにするときに使います。（☛P26）



フレキシブルボタン
これらのボタンに外線ボタンやワンタッチダイヤル、サービスボタンなど、さまざまな機能を割り当てて使います。※1、※2
また、用件の戻し／再生／送り／停止、メッセージの録音などに使います。（☛P26）

ディスプレイ（☛P16）

内線ボタン
内線でお話しするときや、いろいろな登録操作をするときに使います。※1
フックボタン
キャッチホンなどで使います。※1
マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままで内線の呼び出しに応答するときに使います。※1
スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。※1

音量調節ボタン
スピーカやハンドセットからの音量を調節するときに使います。※1

メニューボタン
メニュー設定を行うときや、文字の入力モードを切り替えるときに使います。※1
機能ボタン
他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を登録するときに使います。※1
クリアボタン
文字を消去するときや、メニュー設定を中止するときに使います。※1

外線ボタン
外線に電話をかけるときなどに使います。※1
保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。※1

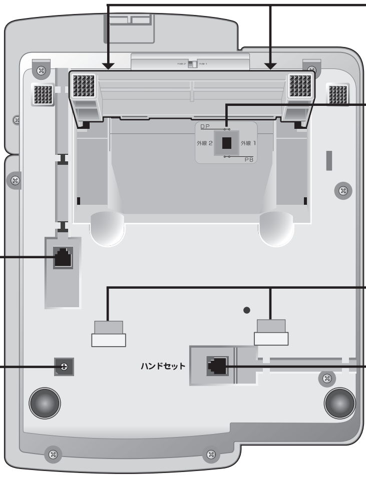
決定ボタン
いろいろな機能を登録するときや、選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。※1
上下左右ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールや、かなを漢字に変換するときなどに使います。※1
- **上ボタン、電話帳ボタン**
  カーソルを上に移動するときや電話帳検索画面を表示させるときなどに使います。
- **下ボタン、短縮ボタン**
  カーソルを下に移動するときや電話帳メモリ検索で電話をかけるときなどに使います。
- **左ボタン、着信履歴／戻るボタン**
  カーソルを左に移動するときや1つ前の画面に戻るとき、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- **右ボタン、発信履歴ボタン**
  カーソルを右に移動するときや、発信履歴を表示させるときなどに使います。

※1：詳しくは、お使いのネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。
※2：ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合は、フレキシブルボタン（10個）が外線ボタンに設定可能です。
※3：ダイヤルボタン［な JKL 5］に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

各部の名前

アナログ回線用

【底面】



壁掛け用穴（☛P46）

DP/PB切替スイッチ
ダイヤル種別を切り替えます。
（設置時にDP（ダイヤル回線）またはPB（プッシュ回線）に設定）

電話機コード差込口
電話機コードを差し込みます。

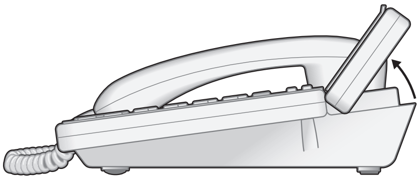
壁掛け用穴（☛P46）

ハンドセットコード差込口
ハンドセットコードを差し込みます。

工事者設定用スイッチ

> **STOP お願い**
>
> 工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

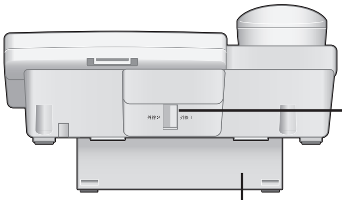
【右側面】



約45°まで、ディスプレイ部分を起こすことができます。

> **STOP お願い**
>
> ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

【背面】

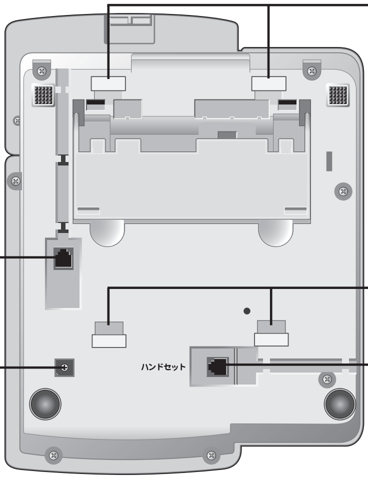


停電切替スイッチ
停電になったときに使います。（☛P49）

角度調節足

ISDN回線用

【底面】



壁掛け用穴（☛P46）

電話機コード差込口
電話機コードを差し込みます。

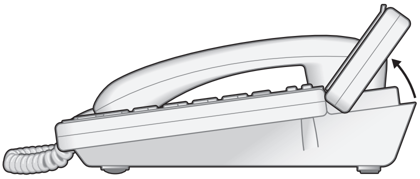
壁掛け用穴（☛P46）

ハンドセットコード差込口
ハンドセットコードを差し込みます。

工事者設定用スイッチ

> **STOP お願い**
>
> 工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

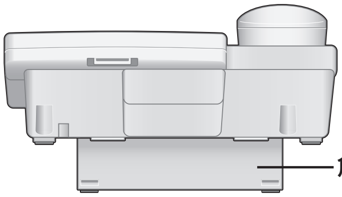
【右側面】



約45°まで、ディスプレイ部分を起こすことができます。

> **STOP お願い**
>
> ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

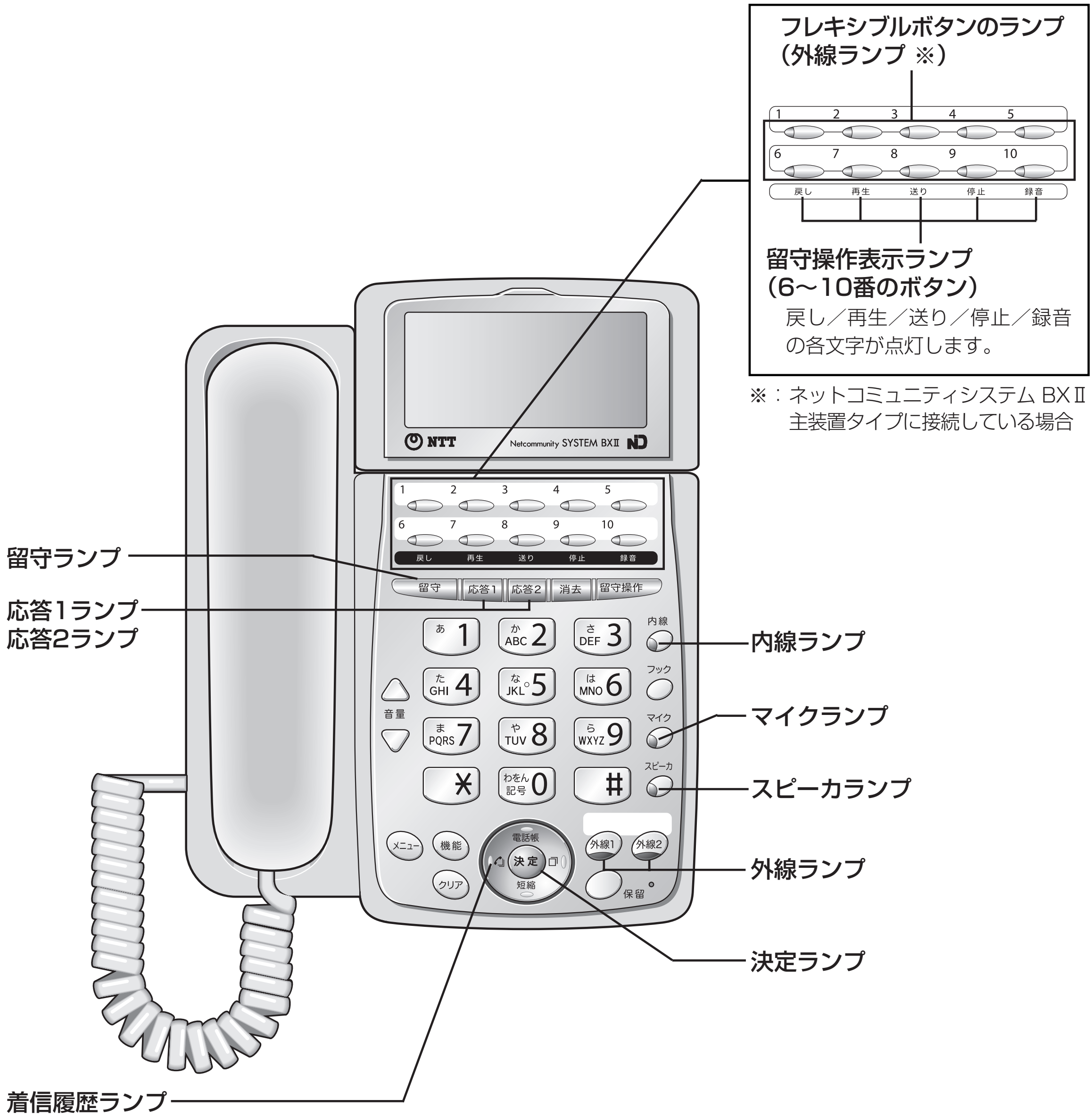
【背面】



角度調節足

各部の名前

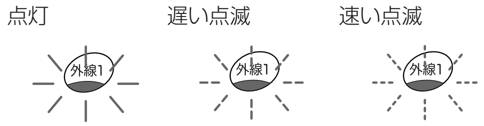
【ランプ表示】



※：ネットコミュニティシステム BXⅡ
主装置タイプに接続している場合

■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて下記のように表します。



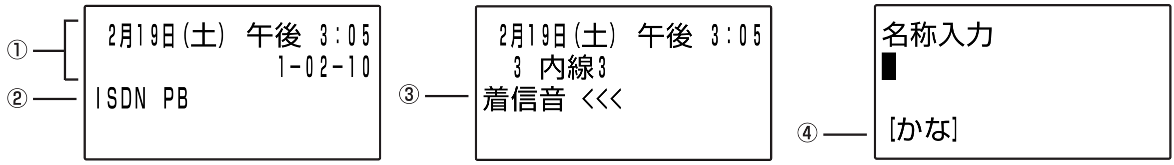
ランプの種類	ランプのつき方（色）	電話機の状態
外線ランプ	2回消える　（緑）	自分の電話機で外の相手の方とお話し中のとき
	2回点灯　（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	点灯　（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき／ナンバー・ディスプレイご利用時、相手の方の電話番号情報を受信しているとき （アナログ回線使用時）
	速い点滅　（赤）	外から電話がかかってきたとき
	速い点滅　（緑）	外の相手の方との保留が長いとき（保留警報中）
		ダイヤルイン着信時 （ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合）
	遅い点滅　（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	2回消える　（緑）	内線でお話し中のとき／ドアホンとお話し中のとき
	速い点滅　（赤）	内線で呼び出されているとき／ドアホンから呼び出されているとき
	周期的に2回点灯　（緑）	自分の電話機で内線通話を保留中のとき （ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合）
留守ランプ	点灯　（赤）	留守セットされているとき
	遅い点滅　（赤）	留守セット中に用件が録音されているとき
応答1ランプ	点灯　（緑）	応答メッセージ1が録音されているとき
	2回点灯　（緑）	留守設定または自動応答中に応答メッセージ1が再生されているとき
	2回消える　（緑）	応答メッセージ1で留守セットされているとき
応答2ランプ	点灯　（緑）	応答メッセージ2が録音されているとき
	2回点灯　（緑）	自動応答中に応答メッセージ2が再生されているとき
	2回消える　（緑）	応答メッセージ2で留守セットされているとき
留守操作表示ランプ	点灯　（赤）	フレキシブルボタンで留守操作ができるとき
マイクランプ	点灯　（赤）	マイクがオンになっているとき
決定ランプ	点滅　（赤）	内線電話機または主装置が起動中のとき
	点灯　（赤）	保留転送できないとき
着信履歴ランプ	点灯　（赤）	ディスプレイに着信履歴を表示しているとき
	周期的に2回点灯　（赤）※	着信履歴を確認していない不在着信があるとき
スピーカランプ	点灯　（赤）	スピーカを使用しているとき

※メニュー設定によって、点灯させる／させないを設定することができます。

各部の名前

【ディスプレイの見かた】

※ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合の表示です。



■こんなときに表示されます

① 文字や数字		カレンダ・時計表示、ダイヤルしている電話番号、かけてきた相手の方の電話番号など（ナンバー・ディスプレイご利用時）、登録または設定の内容など
②	ISDN	ISDN回線を利用しているとき
	PB	プッシュ（PB）回線を使用しているとき／ダイヤル（DP）回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき（DP→PB切替）／ISDN回線、VoIP回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき
	VoIP	VoIP回線を使用しているとき
③	着信音	着信音量を調節しているとき
	受話音	ハンドセットを取りあげ、受話音量を調節しているとき
	スピーカ音	スピーカ音量を調節しているとき
	<<<<<<<<	着信音量、受話音量、スピーカ音量の大きさ
④	[かな]［カナ］ [ABC]［123］	ワンタッチダイヤル、電話帳などの名前を登録するときの文字の種類

ワンポイント

●ディスプレイにバックライトを点灯させるには

＜ネットコミュニティシステムBXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合＞

「システム設定」により、ディスプレイに照明を点灯させて、より見やすくすることができます。
常時点灯、またはボタン操作したときに点灯するように設定することができます。

＜ネットコミュニティシステムBXⅡ 主装置タイプに接続している場合＞

メニュー設定により、ディスプレイに照明を点灯させて、より見やすくすることができます。
常時点灯、またはボタン操作したときに点灯するように設定することができます。

【ディスプレイの文字表示例】

■ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合

電話機の状態	ディスプレイ表示	説　明
外線発信	外線発信	外線ボタンを押して、外に電話をかけるときに、表示されます
外線着信	外線着信	外から電話がかかってきたときに表示されます
外線着信 (ナンバー・ディスプレイご利用時)	外線着信 0312345678	ナンバー・ディスプレイご利用時に、外から電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などとともに表示されます ISDN回線相互間の通信時、相手の方が発信者番号を通知しているときにも表示されます
通話中	外線通話 1-02-10	外の相手の方とお話し中のときに、通話時間とともに表示されます
通話終了	通話終了 1-03-20	外の相手の方との電話が終わり、ハンドセットを置いたときに、通話時間とともに表示されます
保留	保留	外の相手の方とのお話し中に保留ボタンを押したときに表示されます
内線発信	内線発信	ハンドセットを取りあげたとき、または内線ボタンを押したときに表示されます
他の内線電話機が使用中のとき	使用中	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中に外線ボタンを押したとき、および内線呼び出し先の内線電話機が話し中のときに表示されます
留守セット時	録音ｴﾘｱ <<<<<<<<<<<<<<	留守ボタンを押したときに、録音可能時間の目安が一時的に表示されます。<が多いほど録音可能時間は長くなります
留守セット中	4件　午後 3:30	留守セット中、録音された用件の件数と現在の時刻が表示されます

ワンポイント

● **外線発信のとき、ディスプレイに表示される電話番号の桁数について**

留守番停電電話機のディスプレイに表示される電話番号は、20桁までです。21桁以降は右から左へ順次表示されます。

各部の名前

【ディスプレイの文字表示例】

■ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合

電話機の状態	ディスプレイ表示	説　明
外線発信	外線	外線ボタンを押して、外に電話をかけるときに、表示されます
外線着信 (ナンバー・ディスプレイご利用時)	0312345678	ナンバー・ディスプレイご利用時に、外から電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などとともに表示されます ISDN回線相互間の通信時、相手の方が発信者番号を通知しているときにも表示されます
通話中	1-02-10	外の相手の方とお話し中のときに、通話時間とともに表示されます
内線発信	内線	ハンドセットを取りあげたとき、または内線ボタンを押したときに表示されます
他の内線電話機が使用中のとき	ご利用できません	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中に外線ボタンを押したときに表示されます
	話し中	内線呼び出し先の内線電話機がお話し中のときに表示されます
留守セット時	録音ｴﾘｱ <<<<<<<<<<<<<<	留守ボタンを押したときに、録音可能時間の目安が一時的に表示されます。<が多いほど録音可能時間は長くなります
留守セット中	4件　　　　午後 3:30	留守セット中、録音された用件の件数と現在の時刻が表示されます

ワンポイント

●**外線発信のとき、ディスプレイに表示される電話番号の桁数について**

留守番停電電話機のディスプレイの2段目に表示される電話番号は、20桁までです。21桁目を押すと1桁目が1段目に移動し、さらに1桁押すごとに2桁目以降が1段目に移動します。

メニューの操作について

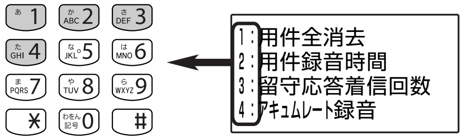
ネットコミュニティシステム BXⅡ の電話機でいろいろな登録・設定を行うには、ディスプレイにメニューを表示させて行います。ここでは、メニューの操作方法を説明します。

メニューの項目の選択方法

表示されるメニューを選択して、次のメニューや登録・設定画面を表示させるには、次の2つの方法があります。

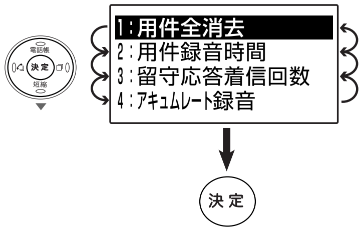
■ダイヤルボタンを使う

メニューの各項目には、数字が振られています。その数字のダイヤルボタンを押して、その項目を選択すると次のメニュー画面や登録・設定画面が表示されます。



■上下ボタン、決定ボタンを使う

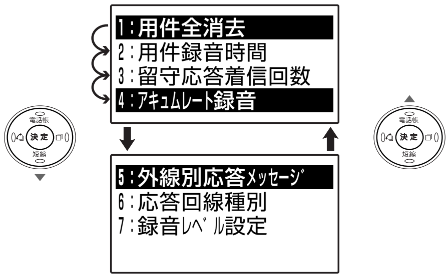
下ボタンを押すと項目の選択位置が下へ、上ボタンを押すと項目の選択位置が上へ移動します。メニューの項目が選択された状態で決定ボタンを押すと、次のメニュー画面や登録・設定画面が表示されます。



メニュー画面での操作のしかた

■メニューの項目が5つ以上ある場合

メニューの項目の続きを見るには、下ボタンを押して一番下の項目まできたら、もう一度下ボタンを押します。前のメニューの項目に戻るには、上ボタンを押します。



■1つ上のメニュー画面、登録・設定画面に戻る

1つ上のメニュー画面や前に登録・設定した画面に戻るには戻るボタンを押します。

■メニュー画面をキャンセルする

クリアボタンを押します。

ワンポイント

● **登録・設定内容を変更せずに次の画面に進むには**
表示された登録・設定内容を変更しない場合は、何もしないで決定ボタンを押します。

● **登録・設定中に電話がかかってきたときは**
<ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合>
電話がかかってきたときは*、着信音は鳴らずにランプで表示されます。電話を受けると登録・設定操作が中止されます。通話終了後、もう一度最初からやり直してください。
*：外から電話がかかってきたとき、内線の一斉呼出、ドアホン着信の場合です。内線電話がかかってきたときは、お話し中になります。
<ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合>
電話を受けると、登録・設定操作が中止されます。通話終了後、もう一度最初からやり直してください。

お知らせ

● 本取扱説明書では、メニューの項目の選択を「ダイヤルボタンを使う」方法で説明しています。
● 外の相手の方とハンドセットで通話中に、登録・設定作業を行うこともできます。

▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は(☛P40)*
▶ *操作を間違えたときには(☛P40)*

電話をかけたり、受けたりするには

電話をかけたり、受けたりする操作は、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプ標準電話機と同じです。次の操作について、詳しくはネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

- 電話をかける(外線発信)
  ハンドセットを取りあげてかける
  ハンドセットを置いたままかける(オンフックダイヤル)
  電話番号を確認してからかける(プリセットダイヤル)
- 電話を受ける(外線着信)
- 相手の方に待っていただく(保留)
- 同じ相手にかけ直す(再ダイヤル)
- ワンタッチダイヤルを登録する
- 電話帳に電話番号を登録する
- ワンタッチダイヤルで電話をかける(ワンタッチダイヤル)
- 電話帳を使って電話をかける(電話帳ダイヤル)
- 電話を取りつぐ(保留転送)
- 内線でお話しする(内線通話)
- 名前を入力する
- かかってきた電話にかけ直す（着信履歴）
- ハンドセットを置いたままで電話をかける（ハンズフリー通話）
- ハンドセットを置いたままで電話を受ける（ハンズフリー通話）

お知らせ

- 電話機ごとに、スピーカ音量、着信音量、受話音量を変更することができます。詳しくは、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

留守番電話として使うには

留守番電話にすると、外出中に電話をかけてきた方に対して外出の旨を伝え（応答メッセージ）、用件を録音していただくことができます。電話機に内蔵している応答メッセージ（内蔵メッセージ）を利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。さらに自作の応答メッセージを利用することもできます。

●外出するとき

留守をセットする

留守ボタンを押して、留守をセットします。（☛P24）

■留守セット時に使用される応答メッセージ

●内蔵メッセージ

2種類のメッセージが電話機に内蔵されていますので、すぐにご利用いただけます。

<応答録音メッセージ>

「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話しください。」留守セット中に用件の録音時間の残量がなくなると応答専用メッセージになります。また応答専用に設定（☛P44）すると、応答専用メッセージが流れます。

<応答専用メッセージ>

「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」

●自作メッセージ

自分の声でメッセージを2種類（応答メッセージ1、応答メッセージ2）、録音できます。

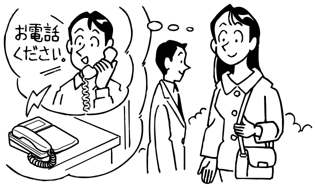
自分の声で応答メッセージを録音するには（☛P27）

→

●外出中

用件が録音される

外出中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。また、外出先へ用件を転送することもできます。（☛P34）



■用件録音

留守セット中に電話がかかってくると、自動的に電話がつながり、応答メッセージが流れます。

↓

「ピー」という音のあとに相手の方がお話しした用件が録音されます。

↓

電話が切れると、録音された曜日と時刻が記録されます。（タイムスタンプ）

↓

●帰宅したら

用件を聞く

用件が録音されていると、留守ランプが点滅し、ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。留守を解除して録音された用件を聞きます。（☛P25）
また、留守操作ボタンを使って、保存された用件などを聞き直すこともできます。（☛P26）

ワンポイント

● 外出先または内線電話機からリモコン操作するには

外出先または内線電話機から用件を聞くことができます。（☛P30）また、留守セットを忘れて外出したときは、リモコン操作で留守セットすることができます。（☛P28）

● 録音された用件を外出先に転送するには

外出するときに転送をセットしておくと、用件が録音されたときに、この電話機が自動的に転送先に電話をかけます。（☛P34）リモコン操作を行って、転送先で用件を聞くことができます。（☛P36）

お知らせ

- 内線電話機からリモコン操作するには、内線呼出音を「信号」に設定してください。内線呼出音の設定はネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。
- アキュムレート録音（☛P23）を「無し」（お買い求め時の設定）に設定している場合は、留守ボタンを押して留守をセットしたときに用件が消去されます。用件を消去している間は、電話をかけたり受けたりすることはできません。

留守番電話を便利に使うには

留守番電話の機能は、お買い求め時の設定を変えることで、さらに便利な使いかたができます。
使いかたをよくご理解いただいてから、それぞれの機能を設定してください。

留守番電話の便利な使いかた

1件の用件の録音時間を変更する

■用件を録音するとき

電話がかかってくると、留守番電話が自動応答し、用件を録音します。（☛P21）

↓

1件あたりの用件録音時間を1～5分の間で設定します。（お買い求め時は1分に設定されています）（☛P44）

■用件を録音しないとき（応答専用）

「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージで応答し、用件を録音しません。

↓

1件あたりの用件録音時間を「無」に設定すると、応答専用メッセージで応答できます。（☛P44）

応答メッセージの使いかた

■内蔵の応答メッセージを使う

「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話しください。」という内蔵の応答メッセージで応答します。

↓

メッセージが内蔵されていますので、留守セットをするだけで使えます。（☛P24）

■自作の応答メッセージを使う

自分の声で録音した2種類の応答メッセージを使うことができます。（応答メッセージ1、応答メッセージ2を録音します。）（☛P27）

↓ 2種類を使い分ける

留守セットをしたあとにどちらかを選べます。（☛P24）

↓ 外線で使い分ける

外線別応答メッセージを「有り」に設定します。（お買い求め時は「無し」に設定されています。）（☛P40、44）

留守番電話が応答するまでの着信音の回数を変える

■留守応答着信回数を変える

着信音が鳴ってから留守番電話が応答するまでの着信音の鳴る回数（応答するまでの時間）を変更できます。

↓

留守応答着信回数を1～9回の間（約3～27秒）で設定できます。（お買い求め時は「0：トールセイバ」に設定されています。）（☛P44）

■トールセイバとは

留守番電話に電話をかけたとき、留守番電話が応答するまでの呼出回数（時間）で用件録音の有無がわかる機能です。録音がある場合は約2回（約6秒）、ない場合は約6回（約18秒）で留守番電話が応答します。トールセイバは各留守番停電電話機ごとに設定できます。

↓

留守応答着信回数を、「0：トールセイバ」に設定します。（☛P44）

留守セットを忘れたときに自動応答させる（在宅自動応答）

■留守セットをしていないときに自動応答する

留守セットをしていないときでも、着信後約50秒経過すると、留守番電話が自動応答し、「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、リモコン操作できるように設定することができます。（☛P28）

↓

在宅自動応答を「有り」に設定します。（お買い求め時は「有り」に設定されています。）（☛P45）

前の用件を消去しないで留守セットにする（アキュムレート録音）

■アキュムレート録音とは

一度留守を解除して聞いた用件を消さずに、留守をセットできる機能です。

＜通常の留守セット＞

用件A　用件B　‥‥前に録音された用件

用件C　用件D　用件E

●留守セット　（用件ABは消去されます）

ここから録音される

＜アキュムレート録音で留守セット＞

用件A　用件B　‥‥前に録音された用件

用件A　用件B　用件C　用件D

●留守セット（用件ABは保存されます）

ここから録音される

アキュムレート録音を「有り」に設定します。（お買い求め時は「無し」に設定されています。）（☛P44）

お知らせ

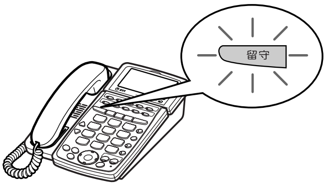
- アキュムレート録音を「無し」（お買い求め時の設定）に設定している場合は、留守ボタンを押して留守をセットしたときに用件が消去されます。用件を消去している間は、電話をかけたり受けたりすることはできません。

留守番電話をセットするには

留守ボタンを押すだけで、留守をセットすることができます。

1 **ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押す。**

応答メッセージがスピーカから聞こえ、留守がセットされます。



ワンポイント

- **応答メッセージは**
  応答メッセージ1が録音されているとき（☛P27）は、そのメッセージが流れます。録音されていないときは、内蔵の応答メッセージが流れます。応答専用のときは、自作の応答メッセージが録音されているかどうかにかかわらず、内蔵の応答専用メッセージが流れます。自作の応答メッセージを使うことはできません。
- **応答専用にするには**
  用件録音時間を「無」に設定して、留守をセットします。（☛P44）
- **自作の応答メッセージが録音されているときに留守ボタンを押したときは**
  <応答1ボタンだけに録音されているとき>
  留守ボタンを押すと、応答メッセージ1が流れます。応答1ランプが2回点滅し、応答メッセージ1で留守にセットされます。
  <応答2ボタンだけに録音されているとき>
  留守ボタンを押すと、内蔵の応答メッセージが流れ、内蔵の応答メッセージで留守にセットされます。
- **応答メッセージ2で留守セットするには**
  留守をセットし、応答メッセージの再生が終了したあと、応答2ボタンを押して応答メッセージ2を再生すると、応答メッセージ2で留守セットされます。再度、応答メッセージ1に戻したいときは、応答1ボタンを押して応答メッセージ1を再生します。
- **留守ボタンを押して留守をセットしたときは**
  応答回線種別に設定されている回線（外線着信、ダイヤルイン着信、内線着信）に自動応答できます。（☛P45）
  応答回線種別の設定（外線着信、ダイヤルイン着信、内線着信）をすべて「無し」に設定した場合は、留守ボタンを押したときに留守ランプは点灯しますが、電話がかかってきたときに留守応答しません。
- **留守番電話をセットしていないときに自動応答するには（在宅自動応答）（☛P45）**

お知らせ

- 応答メッセージ1が録音されているときは、応答1ランプが点灯します。
  応答メッセージ2が録音されているときは、応答2ランプが点灯します。
- 用件は、最大約15分（通話中録音、応答メッセージ録音を含みます。最大録音時間は、録音内容で変わります）、または59件まで録音できます。
- 1秒以内の用件は録音されません。
- アキュムレート録音（☛P44）が「無し」に設定されているときに、留守をセットすると、録音されている用件がすべて消去されます。
- 留守を解除したあと、用件がすべて再生される前に留守にセットしたときは、未再生用件があっても再生したものとみなされ、ディスプレイに「0件」と表示されます。
- 留守中に録音できる時間がなくなると、電話をかけてきた方には「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音できなくなります。
- 録音できる時間がないときに留守をセットすると、ディスプレイに「録音エリア満杯」と表示され、応答専用メッセージで留守にセットされます。
- 外線または内線の着信表示中は、留守をセットできません。
- 内線着信で留守応答するには、内線呼出音を「信号」に設定してください。内線呼出音の設定はネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

登録 ▶ *外線別に応答メッセージを分けるには（☛P40）*

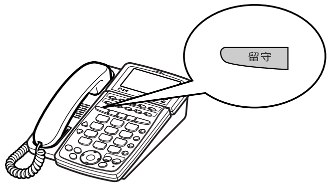
表示 ▶ *録音可能時間を確認するには（☛P41）*

留守番電話を解除するには

用件が録音されると、留守ランプが点滅します。ディスプレイには、録音された用件の件数が表示されます。留守ボタンを押すと留守が解除され、用件が再生されます。

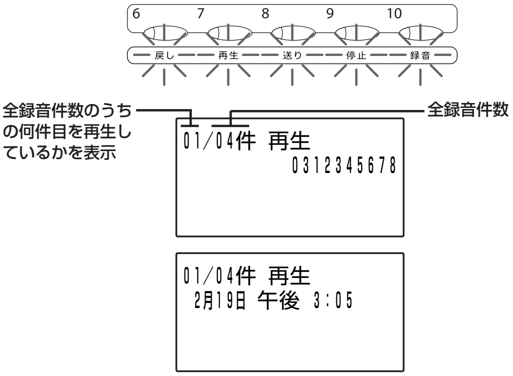
1 ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押す。

留守ランプが消え、留守が解除されます。
用件が録音されているときは、録音件数「…件です。」という音声のあと、各用件ごとに、用件とタイムスタンプが再生されます。



用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声が流れます。

2 留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードになる。（☛P26）



再生終了後、約30秒たつと留守操作モードが解除され、カレンダ・時計表示に戻ります。

お知らせ

- 留守を解除して用件を再生したときは、その留守中に録音された、未再生の用件のみ再生され、ディスプレイにはその未再生用件のみの件数が表示されます。アキュムレート録音（☛P44）された用件は再生されず、ディスプレイの表示件数にも含まれません。
- 外線または内線の着信表示中は、留守を解除できません。
- 用件の再生中または用件を消去中に電話機コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。

ワンポイント

●留守ボタンを押して留守を解除したとき
手順2で留守操作モードが解除されるまでは、留守操作ボタンを押したときと同じ操作ができます。

●タイムスタンプについて
各用件ごとに、用件が録音された曜日・時刻をお知らせします。

●用件をハンドセットから再生するには
用件再生中にハンドセットを取りあげます。

●用件の再生を停止するには
手順1で用件再生中に停止ボタンまたは # を押します。
ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。

●ディスプレイに電話番号や発信者名が表示されているときは
ナンバー･ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。
ディスプレイの表示は、録音ボタンを押すことで、電話帳に登録された名前またはネーム・ディスプレイ表示／電話をかけてきた方の電話番号／タイムスタンプ表示の順に切り替えることができます。

●相手の方の電話番号が電話帳に登録されているときは
ネーム・ディスプレイにより発信者名が通知される場合でも、相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前を表示します。

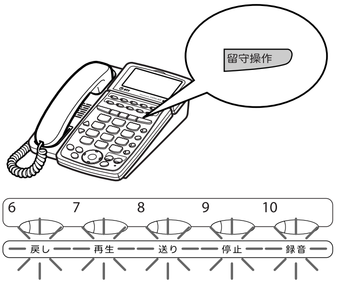
音量 ▶ *スピーカ音量を調節するには（スピーカ音量）（☛P38）*

通話 ▶ *用件再生中に外からの電話に応答するには（☛P42）*
▶ *用件再生中に内線からの電話に応答するには（☛P42）*

録音された用件を聞くには

留守操作ボタンを押すと留守操作モードに切り替わり、留守操作表示ランプが点灯して、用件の再生、戻し、送りなどの操作をすることができます。また、留守ランプが点滅しているときに留守ボタンを押しても用件を聞くことができます。(☛P25)

1 **ハンドセットを置いたまま、留守操作ボタンを押す。**
留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードに切り替わります。



2 **再生ボタンを押す。**
保存されている用件すべてが再生されます。

用件が録音されていないときは、「録音はありません。」という音声が流れます。
再生を途中で止める場合は、停止ボタンを押します。

3 **留守操作ボタンを押す。**
留守操作表示ランプが消灯し、留守操作が終了します。

お知らせ

- 録音された用件は、留守セット中、解除中のどちらでも再生できます。
- 再生ボタンを押して用件を再生したときは、保存された用件のすべてが再生され、ディスプレイには保存された用件を含めた件数が表示されます。
- 用件が再生されていない状態で約30秒間何も操作をしないと、留守操作表示ランプが消え、留守操作ができなくなります。このときは、手順1から操作をやり直してください。
- 相手の方が約10秒何も話さなかったり、声が小さすぎたときは、電話が切れます。このときも1件分の用件として数えられることがあります。また、相手の方が応答メッセージの途中で電話を切ったときも、1件分の用件として数えられることがあります。
- 停電になったときでも録音された用件は消えません。
- 相手の方がお使いの回線により、録音された用件の音質が異なる場合があります。
- 用件の再生中または用件を消去中に電話機コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 通話中に用件再生することはできません。

音量
▶ *スピーカ音量を調節するには(☛P38)*
▶ *相手の方の声が聞き取りにくいときは(☛P38、39)*

通話
▶ *用件再生中に外からの電話に応答するには(☛P42)*
▶ *用件再生中に内線からの電話に応答するには(☛P42)*

ワンポイント

- **留守操作ボタンを押したときのフレキシブルボタンの機能は**
  留守操作モードのとき、各フレキシブルボタンの下に表示された機能を使うことができます。

表示	機能
戻し	用件再生中に押すと、用件を聞き直すことができる。 <用件が1件目のとき> • 1件目の最初に戻る。 <用件が2件目以降のとき> • 用件再生開始後、3秒以内に押したとき：1つ前の用件の最初に戻る。 • 用件再生開始後、3秒以降に押したとき：その用件の最初に戻る。
再生	録音された用件が1件目から再生される。
送り	用件再生中に押すと、次の用件を再生する。最後の用件再生中に押したときは、再生が停止する。 また、送りボタンでスキップした用件は、すべて再生したものとみなされる。
停止	用件再生中に押すと、再生を停止する。
録音	通話中に押すと、お話しを録音できる。(通話中録音)(☛P37) 用件再生中に押すと電話をかけてきた方の電話番号などとタイムスタンプ表示(録音された日付・時刻)を切り替えて表示する。

- **用件をハンドセットから再生するには**
  用件再生中にハンドセットを取りあげます。
- **停止ボタンを押さずに用件の再生を停止するには**
  手順2で用件再生中に # を押します。ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。このとき、留守操作モードは解除されません。
- **タイムスタンプについて**
  各用件ごとに、用件が録音された曜日・時刻をお知らせします。
- **用件を消去するには**
  消去する用件の再生中に消去ボタンを押します。次の用件があるときは、続けて再生されます。
- **用件をすべて消去するには(用件全消去)(☛P44)**
- **用件を保存するには(アキュムレート録音)(☛P44)**
- **ディスプレイに電話番号や発信者名が表示されているときは**
  ナンバー･ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。
  ディスプレイの表示は、録音ボタンを押すことで、電話帳に登録された名前またはネーム・ディスプレイ表示／電話をかけてきた方の電話番号／タイムスタンプ表示の順に切り替えることができます。

応答メッセージを録音するには

自分の声で録音した応答メッセージを利用することができます。応答1ボタン、応答2ボタンそれぞれに、約15秒ずつ応答メッセージを録音することができます。また、ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2ボタンを押すと、応答メッセージを再生できます。

1 ハンドセットを置いたまま、応答1ボタンまたは応答2ボタンを押す。

「録音します。ハンドセットを取り、ピーという音のあとにお話しください。」という音声が流れます。

2 ハンドセットを取りあげる。

「ピー」という音のあとに応答メッセージを録音します。

応答1録音

3 録音が終わったら、ハンドセットを置く。または # を押してからハンドセットを置く。

を押したときは「ピー」という音がスピーカから聞こえます。

受話器を置いて下さい

ハンドセットを置くとカレンダ・時計表示に戻ります。

ワンポイント

- **応答メッセージを再生するには**
  ①ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2ボタンを押す。
  「再生します。」という音声のあと、応答メッセージが再生される。ハンドセットから再生するときは、ハンドセットを取りあげる。
  ②再生を終了するときは # を押す。ハンドセットを取りあげたときはハンドセットを置く。
- **応答メッセージを消去するには**
  ハンドセットを置いたまま、消去ボタンを押しながら応答1ボタンまたは応答2ボタンを押します。押した応答ボタンに録音されている応答メッセージが消去され、そのランプが消灯します。

お知らせ

- 録音時間を超えたときはスピーカから「ピー」という音が鳴り、録音が終了します。ハンドセットを置いてください。
- 応答1ランプまたは応答2ランプが点灯しているときは、すでに応答メッセージが録音されています。ランプが点灯しているボタンに応答メッセージは録音できません。録音する場合は、ランプが点灯しているボタンの応答メッセージを消去してください。
- 最大録音時間（約15分）は、用件、応答メッセージ、通話中録音すべてを含めた録音時間です。残りの録音時間がないときは操作をしても応答メッセージを録音できません。
- 手順1で音声が流れている間にハンドセットを取りあげたときは、音声はハンドセットから聞こえます。
- 手順1で音声が流れたあとで約10秒間何も操作をしないと、「ピー」という音が鳴り、応答メッセージの録音が中止されます。もう一度はじめからやり直してください。
- 用件が59件または最大録音時間まで録音されているときは、応答メッセージが録音されていても、「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音されません。
- 自作メッセージは応答専用メッセージとして利用できません。
- 停電になったときでも録音された応答メッセージは消えません。

登録 ▶ *外線別に応答メッセージを分けるには（☛P40）*

表示 ▶ *録音可能時間を確認するには（☛P41）*

通話 ▶ *応答メッセージの録音中または再生中に外からの電話に応答するには（☛P42）*
▶ *応答メッセージの録音中または再生中に内線からの電話に応答するには（☛P42）*

リモコン操作でできること

リモコン操作とは、外出先などからネットコミュニティシステム BXⅡに電話をかけて、ダイヤルボタンで用件を聞くなどの操作をすることです。リモコン操作をするためには、あらかじめリモート暗証番号の登録が必要です。また、留守セットにされているか、在宅自動応答（☛P45）が「有り」に設定されていることも必要です。

■リモコン操作の準備と流れ

リモート暗証番号を登録する

留守番停電電話機で暗証番号を登録します。
（☛P29）

↓

留守をセットする

外出したり不在にするときは、留守をセットします。
留守番電話をセットするには（☛P24）

↓

外出先から電話をかける

プッシュ信号を送ることができる外の電話機から、ネットコミュニティシステム BXⅡに電話をかけます。
他の内線電話機からの場合には、留守番停電電話機を内線番号で呼び出します。応答メッセージが聞こえたら㊒、リモート暗証番号、㊒を押します。
ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があればリモコン操作ができます。

↓

録音された用件を聞く

曜日、時刻、録音された用件の件数に続いて、用件が聞こえます。
続けて聞こえる音声にしたがって、リモコン操作の方法を選びます。

- 対話形式でリモコン操作をする（☛P30）
- 番号でリモコン操作をする（ダイレクトリモコン）（☛P32）

プラスα　リモコン操作で留守をセットする

留守をセットするのを忘れたとき、在宅自動応答が「有り」に設定されていると（☛P45）、リモコン操作で留守をセットすることができます。

1. ネットコミュニティシステム BXⅡに電話をかける。
2. 着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。
3. 応答専用メッセージが聞こえている間に㊒、リモート暗証番号、㊒を押す。
   留守がセットされます。
4. 曜日、時刻の次に設定されている応答メッセージが聞こえ、続けて聞こえる音声にしたがってリモコン操作をする。
5. リモコン操作を終了する場合は㊒⓪㊒を、対話形式でリモコン操作する場合は㊒①㊒を、直接リモコン操作を行う場合は㊒④㊒を押す。

ワンポイント

● **リモコン操作でできる機能一覧**

機能	内容
用件の再生、消去	録音された用件を再生、消去できます
留守セット、解除	留守をセット、解除できます

お知らせ

● **リモコン操作での留守セットについて**
ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合、主装置の「在宅自動応答設定」が「自動応答する」に設定されているときは、主装置が応答し、「ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえますので、主装置の自動応答サービスで留守をセットすることができます。詳しくは、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

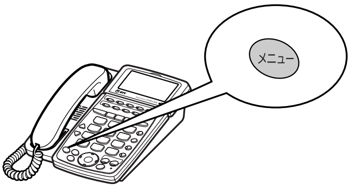
お願い

- 音声が聞こえている間に㊒を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2〜3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作してください。
- 雑音の多い場所でリモコン操作をされる場合は、正常に作動しないことがあります。

リモート暗証番号を登録するには

リモコン操作を行うためのリモート暗証番号（3〜6桁の数字）を登録します。リモート暗証番号を登録できるのは留守番停電電話機からのみです。

1 [メニュー] ボタン、[3] [2] を押して「3:リモート暗証番号」を表示させる。



1:留守転送
2:留守モニタ
3:リモート暗証番号
4:在宅自動応答

2 [3] を押す。

リモート暗証番号
暗証番号入力

3 リモート暗証番号（3〜6桁）をダイヤルボタンで押す。

リモート暗証番号
暗証番号入力
1234

入力した数字を修正する場合は [クリア] ボタンを押します。

4 登録内容を確認し、[決定] ボタンを押す。

リモート暗証番号が登録されます。

[クリア] ボタンを押すと、登録作業が終了します。

ワンポイント

- **リモート暗証番号を変更するには**
  手順1から新しいリモート暗証番号を登録します。もとの番号は消え、新しく登録した番号がリモート暗証番号になります。
- **リモート暗証番号を消去するには**
  手順3で [クリア] ボタンを押して暗証番号を消去し、[決定] ボタンを押します。

お知らせ

- リモート暗証番号には [＊]、[#] は登録できません。
- リモート暗証番号が登録済みのときは、手順2で桁数分の「*」が表示されます。
- 現在登録されているリモート暗証番号を確認することはできません。また、リモート暗証番号が登録されていないときはリモコン操作はできません。

外出先から用件を聞くには

外出先からリモート暗証番号を使って、外出中などに録音された用件を聞くことができます。
続けて、用件を消すなどのリモコン操作ができます。

対話形式でリモコン操作をする

1 ネットコミュニティシステム BXⅡに電話をかける。

電話がつながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。

他の内線電話機からの場合には、留守番停電電話機を内線番号で呼び出します。

2 応答メッセージが聞こえている間に、㊊、リモート暗証番号、㊊を押す。

3 曜日、時刻が聞こえ、続けて録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生される。

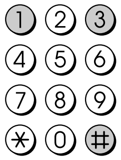
用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

4 メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。

5 ㊊①㊊ を押す。

対話形式でのリモコン操作に設定されます。

6 聞こえてくる音声にしたがって、留守番電話をリモコン操作する。



はい（実行するとき）　：㊊①㊊
いいえ（スキップ）　：㊊③㊊

7 リモコン操作を終了するときは、㊊⓪㊊を押して電話を切る。

お知らせ

- メニューガイダンスは、音声が聞こえてから約8秒間何も操作をしないと、再度同じガイダンスが聞こえて、さらに8秒間何も操作をしないと、自動的に電話が切れます。
- 対話形式のリモコン操作中は、音声が聞こえてから約6秒間何も操作をしないと、再度同じ音声が聞こえます。さらに約6秒間何も操作をしないと、次の音声が聞こえます。最後の「リモコンを終了しますか。」という音声が2回聞こえてから約6秒たつと、自動的に電話が切れます。
- 対話形式またはダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、アキュムレート録音（☛P44）の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。

お願い

- 音声が聞こえている間に ㊊ を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作をしてください。

ワンポイント

● **対話形式で聞こえる音声の内容は**
手順6で聞こえる音声は、次の順序です。

①「実行なら#、1、#を、スキップなら#、3、#をどうぞ。」
②「用件メッセージを消去しますか。」
③「用件メッセージを再生しますか。」
④「留守設定を解除しますか。」
⑤「留守設定にしますか。」
⑥「リモコンを終了しますか。」

- ⑥で㊉③㊉を押すと、②へスキップします。
- ④、⑤は留守設定の状態によって聞こえます。

● **対話形式リモコン操作中に、メニューガイダンスへ戻るには**
手順6で㊉⑨㊉を押します。

● **対話形式リモコン操作中に、ダイレクトリモコン操作に変更するには**
手順6で㊉⑨㊉を押してメニューガイダンスに戻り、㊉④㊉を押します。ダイレクトリモコン操作ができるようになります。(☛P32)

● **留守をセットしていないときは（在宅自動応答）**
留守が解除されているときでも、着信後約50秒経過すると応答専用メッセージが再生され、留守をセットすることができます。(☛P28)

● **リモコン操作を途中でやめるには**
㊉⓪㊉を押して電話を切ります。

登録
▶ *リモート暗証番号を間違えたときは（☛P40）*
▶ *暗証スキップ電話番号が登録されているときは（☛P40）*
▶ *トールセイバが設定されているときは（☛P40）*

外出先から用件を聞くには

番号でリモコン操作をする（ダイレクトリモコン）

1 **ネットコミュニティシステム BXⅡに電話をかける。**
電話がつながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。

他の内線電話機からの場合には、留守番停電電話機を内線番号で呼び出します。

2 **応答メッセージが聞こえている間に、㊊、リモート暗証番号、㊊を押す。**

3 **曜日、時刻が聞こえ、録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生される。**
用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

4 **メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。**

5 **㊊④㊊を押す。**
ダイレクトリモコン操作に設定され、「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。

6 **リモコン操作番号（☛P33）を押す。**
留守番電話をリモコン操作します。

7 **リモコン操作を終了するときは、㊊⓪㊊を押して電話を切る。**

ワンポイント

- **番号でリモコン操作中に、メニューガイダンスへ戻るには**
  手順6で㊊⑨㊊を押します。
- **ダイレクトリモコン操作中に、対話形式リモコン操作に変更するには**
  手順6で㊊⑨㊊を押してメニューガイダンスに戻り、㊊①㊊を押します。対話形式でリモコン操作ができるようになります。（☛P30）
- **留守をセットしていないときは（在宅自動応答）**
  留守が解除されているときでも、着信後約50秒経過すると応答専用メッセージが再生され、留守をセットすることができます。（☛P28）
- **リモコン操作を途中でやめるには**
  ㊊⓪㊊を押して電話を切ります。

お知らせ

- 手順5で音声が聞こえてから約8秒間何も操作をしないと、「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。4回目の「番号をどうぞ。」という音声のあと、電話が切れます。
- 対話形式およびダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、アキュムレート録音（☛P44）の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。

お願い

- 音声が聞こえている間に㊊を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作をしてください。

登録
▶ *リモート暗証番号を間違えたときは（☛P40）*
▶ *暗証スキップ電話番号が登録されているときは（☛P40）*
▶ *トールセイバが設定されているときは（☛P40）*

番号でできるリモコン操作（ダイレクトリモコン操作番号）

リモコン操作中に「番号をどうぞ。」という音声が聞こえたあと、次の操作が行えます。

①⌗（用件再生中に押す）
用件戻し
再生中の用件の先頭、または1件前の用件を再生します。先頭の用件のときは、再生中の用件をはじめから再生します。

②⌗
用件再生
用件が先頭から再生されます。

③⌗（用件再生中に押す）
用件送り
次の用件を再生します。最後の用件の再生中に押したときは、「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。

⑧⌗（用件再生中に押す）
再生中用件消去
再生中の用件を消去します。

⊛⌗
留守解除
留守を解除します。

⌗（用件再生中に押す）
動作停止
再生が停止します。続けて他のリモコン操作を行ってください。

⌗⑨⌗
最初の音声に戻る
「外出先から用件を聞くには」の手順４の「メニューガイダンス」に戻ります。

⌗⓪⌗
リモコン操作終了
リモコン操作を終了し、電話が切れます。

お知らせ

- 用件の再生中または用件を消去中に電話機コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。
- **リモコン操作での留守セットについて**
  ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合、主装置の「在宅自動応答設定」が「自動応答する」に設定されているときは、主装置が応答し、「ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえますので、主装置の自動応答サービスで留守をセットすることができます。詳しくは、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

ワンポイント

- **リモコン操作で留守をセットするには**
  留守をセットするのを忘れたとき、在宅自動応答（☛P45）が「有り」に設定されていると、リモコン操作で留守をセットすることができます。
  ①ネットコミュニティシステム BXⅡに電話をかける。
  ②着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。
  ③応答専用メッセージが聞こえている間に⌗、リモート暗証番号、⌗を押す。
  留守がセットされます。
  ④曜日、時刻の次に設定されている応答メッセージが聞こえ、続けて聞こえる音声にしたがってリモコン操作をする。
  ⑤リモコン操作を終了する場合は⌗⓪⌗を、対話形式でリモコン操作をする場合は⌗①⌗を、直接リモコン操作を行う場合は⌗④⌗を押す。

用件を外出先へ転送するには　（転送）

転送とは、留守番電話に用件が録音されたことを自動的に外出先へ電話をかけて知らせる機能です。転送先を設定して、携帯電話に知らせることもできます。転送を行うには、あらかじめリモート暗証番号と転送先の電話番号の登録が必要です。

転送とは

転送の準備（留守番停電電話機）

リモート暗証番号を登録します。（☛P29）

↓

転送先の電話番号、転送に使う外線を設定します。（☛P35）

↓

転送をセットします。（☛P35）

↓

留守をセットします。（☛P24）
リモコン操作で外出先や他の内線電話機からも留守をセットできます。（☛P28、30、32、33）

↓

外出します。

外出中

用件が録音されると転送先へ自動的に電話をかけます。

↓

転送先で電話を受けます。（☛P36）

↓

リモート暗証番号を使って用件を聞きます。

帰宅したら

転送を解除します。

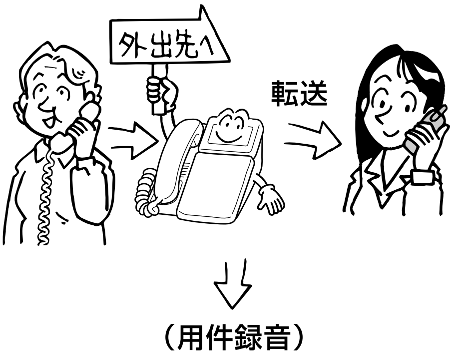
↓

留守転送を「無し」に設定します。（☛P35）

転送の利用例

外出先の電話機に転送

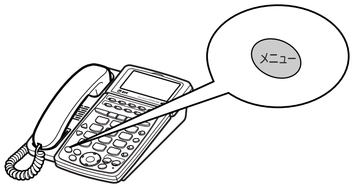
用件が録音されると、自動的に転送先へ電話をかけます。転送先で用件を聞くことができます。（☛P36）

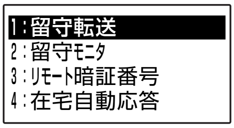


用件の転送先を登録してセットするには

転送をセットするときは、転送先の電話番号、転送に使う外線も同時に設定、登録します。電話番号は32桁まで登録することができます。転送をセットすると、用件が録音されたあと、転送先に自動的に電話をかけ、転送先で用件を聞くことができます。(☛P36)転送するときは、あらかじめ留守をセットしておいてください。

1 メニュー ボタン、3 2 を押して「1:留守転送」を表示させる。

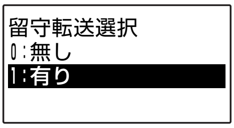




2 1 を押す。

3 留守転送する場合は 1 を押す。

留守転送を解除する場合は 0 を押します。

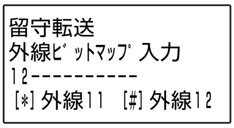


4 転送先電話番号(32桁まで)をダイヤルボタンで押す。

入力した電話番号を修正する場合は クリア ボタンを押します。

5 決定 ボタンを押す。

6 転送に使う外線の番号をダイヤルボタンで押す。



ダイヤルボタンを押すと外線1～12を設定することができます。外線10は 0 、外線11は * 、外線12は # を押します。もう一度同じダイヤルボタンを押すと解除され、「-」と表示されます。

7 決定 ボタンを押す。

クリア ボタンを押すと、登録作業が終了します。

留守がセットされているときは、ディスプレイに「留守転送」と表示されます。

ワンポイント

- **転送を解除するには**
  転送がセットされているときに、手順3で 0 (0:無し)を選択して 決定 ボタンを押します。留守セットされているときは、ディスプレイの「留守転送」が消え、カレンダ・時計表示に戻ります。
- **転送先の電話番号を変更するには**
  手順4で新たに転送先電話番号を入力し直してください。
- **転送先の電話番号を削除するには**
  手順4で、クリア ボタンを押して入力した数字を削除して 決定 ボタンを押します。

お知らせ

- ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合、手順6で転送に使う外線の番号1～12をすべて「-」にする(外線を設定していない)と、使用できる外線で転送します。
- アナログ回線をお使いのときは、手順4でフックボタンを押すごとに約3秒のポーズが入ります。ディスプレイには「-」(ハイフン)が表示されます。
- 転送先の電話番号を誤って登録すると、用件が録音されるたび、誤った相手に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。
- 転送をセットしていても、留守がセットされていないと転送されません。
- 用件録音時間が「無(応答専用)」に設定されているときは、転送されません。
- 録音可能時間が「満杯」で、用件が録音できなかったときは、転送されません。
- 相手の方が用件を録音しないで電話を切ったときや用件が短かすぎるときは、転送されないことがあります。
- 転送は、用件録音終了約1分後に開始します。転送先がお話し中などで応答しないときや、約50秒間呼び出しても出なかった場合は、約3分後にかけ直します。
- 転送中は音量操作以外のボタン操作は行えません。ハンドセットを取りあげて置くと転送を中止します。

お願い

- ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプに接続している場合、転送に使う外線の番号を手順6で必ず設定してください。すべて「-」にしたとき(外線を設定していないとき)は転送されません。

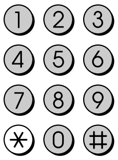
転送先で用件を受けるには

転送によって転送先に電話がかかってきたときは、リモート暗証番号を使って、録音されている用件を聞くことができます。

転送先で電話を受けたときに「ピッピッ、転送します。」という音声が聞こえたら…

1 **音声が聞こえている間に、#、リモート暗証番号、#を押す。**

曜日・時刻、録音件数「…件です。」という音声のあとで、用件が再生されます。



2 **再生が終わったら、 # ⓪ # を押して電話を切る。**

ワンポイント

- **用件を受けることのできる電話機は**
  必ずプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば用件を再生することができます。
- **操作を途中でやめるときは**
  # ⓪ # を押して電話を切ります。
- **用件再生が終わったあとは**
  「対話形式でリモコンを行う場合は＃１＃を、直接リモコンを行う場合は＃４＃を、リモコンを終了する場合は＃０＃をどうぞ。」という音声が聞こえます。
  # ① # で対話形式リモコン（☛P30）
  # ④ # でダイレクトリモコン（☛P32）
  の操作ができます。

お知らせ

- 転送は、用件録音終了約1分後に開始します。転送先がお話し中などで応答しないときや、約50秒間呼び出しても出なかった場合は、約3分後にかけ直します。
- 転送できなかったときは、新しい用件が録音されるまで転送されません。
- 手順1で、音声が聞こえてから約50秒以内にリモート暗証番号を入力しなかったときは、電話が切れます。この場合、再度通知されません。

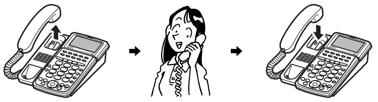
お願い

- 音声が聞こえている間に # を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作をしてください。

登録 ▶ *リモート暗証番号を間違えたときは（☛P40）*

より便利に使うには

この電話機のその他の機能を利用した、便利な使いかたをご紹介します。用途に応じてお使いください。

機　能		こんなときに	このように操作します
1	外の相手の方とのお話しを録音するには（通話中録音）	外の相手の方とのお話し中に、覚えておきたい用件をメモ代わりに録音しておきたい	お話し中に [留守操作] ➡ [録音] ➡ 録音を止めるときは [停止]
2	相手を確かめてから電話に出るには（居留守応答）	かかってきた電話に、留守番電話で応答し、相手を確かめてから電話に出たい	電話がかかってくると留守番電話が応答する 相手の方の声を確認する ➡  電話を切ったあとも留守はセットされています ※居留守応答は「留守モニタ」（☛P45）の設定を「有り」にしないと行えません。

ワンポイント

- **通話中録音で会話を録音できる時間は**
  最大で約15分（応答メッセージ録音、用件録音を含みます）です。録音が「満杯」になると、録音が止まります。
- **通話中録音を聞きたい場合は**
  電話を切ったあと、留守番電話の用件と同様の操作で再生してください。（☛P26）
- **通話中録音した内容を消去するには**
  留守番電話の用件と同様の操作で消去します。（☛P26）

お知らせ

- お話し中に留守操作ボタンを押すと、録音可能時間の目安がディスプレイに表示されます。録音できる時間がないときは、ディスプレイに「録音エリア満杯」と表示され、通話中録音はできません。
- 留守操作表示ランプが点灯中に留守操作ボタンを押すと、ランプが消え、操作できません。このときは、もう一度、留守操作ボタンを押して留守操作表示ランプの点灯を確認し、操作してください。
- 録音中に電話を切る、他の空いている外線ボタンを押すか、または保留にすると録音は終了します。
- アキュムレート録音が「無し」に設定されているときに（☛P44）、留守をセットすると通話中録音した内容は消去されます。
- 居留守応答した場合は、留守転送を「有り」に設定していても（☛P45）、録音後、外出先への自動転送は行われません。
- 音楽等は原音どおりに録音されないことがあります。
- 相手の方に無断で通話を録音すると、個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。相手の方にお断りのうえ、録音してください。
- 1件の通話中に録音ボタン、停止ボタンを繰り返して押すことで、複数個の通話録音ができます。ただし、約1秒以内の録音は登録されません。
- ハンドセットを置いたままお話ししているときは（ハンズフリー通話）、自分の声がうまく録音されないことがあります。会話を録音するときはハンドセット通話でお使いください。
- 居留守応答で電話に出るまでに録音された内容は、1件分の用件として数えられます。

Q&A

「こんなことがしたい」などといった場合で、お役にたつ便利な操作や操作中の注意点などを、テーマ別に質問形式でまとめています。本文中から、アイコンを目印にして簡単に参照できるようになっています。

いろいろな音量を調節する

音量

Q *着信音の音量を切り替えるには?（着信音量）*

A **ハンドセットを置いたまま、▽：音量小ボタン、または△：音量大ボタンを押して調節します。**

△：音量大ボタンを押すごとに音量が1段階ずつ大きく、▽：音量小ボタンを押すごとに音量が1段階ずつ小さくなります。

着信音を切り替えると、内線呼出音量やドアホンチャイム音量も同時に切り替わります。表示と音量は下の表のようになります。

表示と押すボタン	外線着信音	内線呼出音	ドアホンチャイム
着信音〈〈〈	大	大	大
着信音〈〈	中	中	中
着信音〈	小	小	小
（2秒以上押す）※ 外線着信音ミュート	切	小	切

※：ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合

音量が最大のとき△：音量大ボタンを、最小のとき▽：音量小ボタンを押すと確認音が鳴りますが、音量およびディスプレイの表示は変わりません。

<ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合>

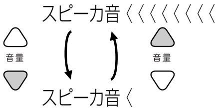
・ハンドセットを置いたまま▽：音量小ボタンを2秒以上押すと、外線着信音を鳴らさなくすることができます。
　解除するには、ハンドセットを置いたまま△：音量大ボタンを押します。解除すると音量は「小」になります。
・外線着信音ミュートになっているとき、外線着信音やドアホンチャイム音は鳴りません。内線から呼び出しがあったときは、内線呼出音（音量レベルは「小」）が鳴ります。
・外線着信音ミュートになっているとき、△：音量大ボタンを押して音量を「切」から解除した場合、必ず音量レベルは「小」になります。音量を「切」にする前の音量レベルには戻りません。

Q *スピーカ音量を調節するには?（スピーカ音量）*

A **スピーカ受話中に▽：音量小ボタンまたは△：音量大ボタンを押して調節します。**

電話機ごとに、スピーカ音量を8段階に切り替えることができます。

△：音量大ボタンを押すと大きく、▽：音量小ボタンを押すと小さくなります。

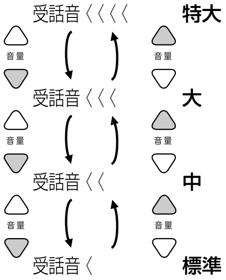


◆調節したスピーカ音量は、スピーカ受話での通話終了後も、もとに戻りません（変更後のレベルを保持）。

Q *ハンドセットでのお話し中、相手の方の声が聞き取りにくいときは?（受話音量）*

A **お話し中に▽：音量小ボタンまたは△：音量大ボタンを押して調節します。**

受話音量は、「標準」、「中」、「大」、「特大」の4段階に調節できます。大きくするときは、お話し中に△：音量大ボタンを、小さくするときは、▽：音量小ボタンを押します。



お買い求め時は、通話終了後も調節した受話音量を保持するように設定されています。

受話音保持設定により、保持する／保持しないを変えることができます。ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

いろいろな音量を調節する

音　量

Q ***受話音を調節しても相手の方の声が聞き取りにくいときは？***

A **受話増機能を使ってさらに大きな音量にすることができます。**

受話増機能で相手の方の声を7段階に調節することができます。
受話増機能は以下の手順で調節してください。

① ハンドセットを耳から離し、△：音量大ボタンを2秒以上押す。

相手の方の声が大きくなります。

② △：音量大ボタン、または▽：音量小ボタンを押して、適当な音量にしてお話しをする。

設定した音量レベルがディスプレイに表示されます。

<例>レベル5の場合

ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機接続時	ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプ接続時
外線通話 0-10 受話増 <<<<<	0-10 受話増 <<<<<

お買い求め時は、受話増機能を保持しないように設定されています。
受話増保持設定により、保持する／保持しないを変えることができます。ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

＜受話増機能で大きくした受話音量を標準に戻すには＞
▽：音量小ボタンを2秒以上押してください。

> ⚠ **注意**
>
> **音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。受話増機能を使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してからご利用ください。**

お知らせ

● 受話増機能を使用した場合、「ピー」という音（ハウリング）が聞こえることがあります。

Q ***留守録音された音声が聞き取りにくいときは？（録音レベル）***

A **録音レベルの設定を変更することができます。**

① [メニュー] ボタン、[3]、[1] を押す。

② 下ボタンを押して「7：録音レベル設定」を表示させ、[7] を押す。
録音レベル設定画面が表示されます。

③ [0]～[2] を押して、録音レベルを選択する。
[0]（標準）、[1]（中）、[2]（大）を選択します。お買い求め時は、「標準」に設定されています。

Q&A

その他の機能を使う

登録・設定操作

Q *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は?*

A **何もボタンを押さずにしばらくすると、自動的に操作が終了します。**

Q *操作を間違えたときには?*

A **(決定)ボタンを押すまでは、何度でも入力し直すことができます。(電話番号や名前の登録は除きます。)**
(クリア)ボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。

Q *外線別に応答メッセージを分けるには?*

A **留守設定で外線別応答メッセージを設定します。**

① (メニュー)ボタン、(3)(1)を押す。
② 下ボタンを押して「5:外線別応答メッセージ」を表示させ、(5)を押す。
外線別応答メッセージの選択画面が表示されます。
③ (1)を押す。

```
外線別応答ﾒｯｾｰｼﾞ 選択
0:無し
1:有り
```

④ 外線ごとに応答メッセージ1、2を設定する。
お買い求め時は、応答メッセージ1が外線1〜12に設定されています。ダイヤルボタンを押すと、応答メッセージ2に外線1〜12が設定されます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと応答メッセージ1に外線1〜12が設定されます。外線10は(0)、外線11は(*)、外線12は(#)を押します。設定されていない外線は「-」で表示されます。

```
外線別応答ﾒｯｾｰｼﾞ
応答1:12--567890*#
応答2:--34--------
[*]外線11 [#]外線12
```

⑤ 設定内容を確認し、(決定)ボタンを押す。
外線別応答メッセージが設定され、手順②の外線別応答メッセージ選択画面が表示されます。
解除する場合は、手順③で(0)を押します。

Q *リモート暗証番号を間違えたときは?*

A **「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。もう一度、(#)、リモート暗証番号、(#)の順に押してください。**
リモート暗証番号を3回間違えると自動的に電話が切れ、次からは1回間違えると電話が切れます(暗証破りガード)。暗証破りガードは、留守をセット/解除するまで継続されます。また、停電すると解除されます。

Q *暗証スキップ電話番号が登録されているときは?*

A **暗証番号を入力しなくても、リモコン操作できるように設定することができます。(暗証スキップ)(☛P45)**
あらかじめ留守番停電電話機に登録されている電話番号(暗証スキップ電話番号)の電話機から電話をかけたときは、暗証番号を入力しなくてもリモコン操作できるように設定することができます。(暗証スキップ)(☛P45)ただし、発信電話番号を通知しないときや電話番号の登録操作をしないときは、暗証スキップはできません。

Q *トールセイバが設定されているときは?*

A **留守番電話に電話をかけたとき、呼出音の回数が次のように変わります。(☛P44)**
呼出音が3回鳴っても留守応答しないときは、用件は録音されていません。または、すべての用件は再生済みです。

呼出音回数	留守番電話の状態
約2回(約6秒)で留守応答したとき	未再生の用件が1件以上録音されています
約6回(約18秒)で留守応答したとき	用件は録音されていません。または、すべての用件は再生済です

その他の機能を使う

表　示

Q *録音可能時間を確認するには?*

A **留守ボタンを押します。**

留守ボタンを押すと、応答メッセージが流れている間、ディスプレイに残りの録音可能時間が表示されます。
録音可能時間の表示は実際の録音可能時間と異なる場合もありますので、目安としてお使いください。

<残りの録音可能時間があるとき>

- 留守ボタンを押したとき

```
録音ｴﾘｱ <<<<<<<<<<<<
```

- 通話中に留守操作ボタンを押したとき（☛P37）

```
録音ｴﾘｱ <<<<<<<<<<<<
留守操作できます
```

残りの録音可能時間は12段階でディスプレイに表示されます。残り時間は録音内容によって変わりますので、目安としてお使いください。

<残りの録音可能時間がないとき>

- 留守ボタンを押したとき

```
録音ｴﾘｱ満杯
```

- 通話中に留守操作ボタンを押したとき（☛P37）

```
録音ｴﾘｱ満杯
留守操作できます
```

Q&A

その他の機能を使う

通　話

Q *録音された用件の再生中や応答メッセージの録音中または再生中に、外からの電話に応答するには?*

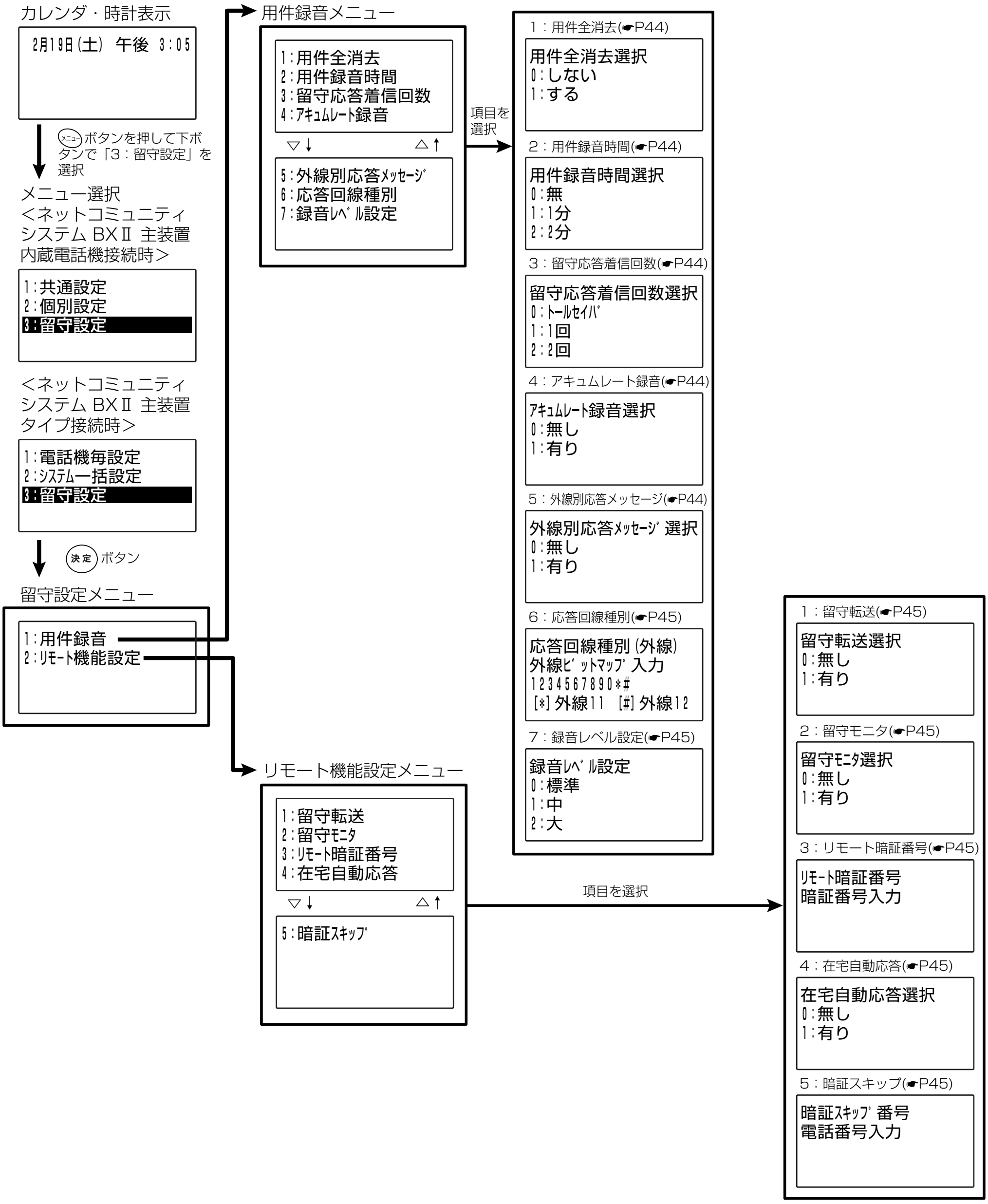
A 応答する外線ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、応答する外線ボタンを押してください。
着信中は、外線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。

Q *録音された用件の再生中や応答メッセージの録音中または再生中に、内線からの電話に応答するには?*

A 内線ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、内線ボタンを押してください。
着信中は、内線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。

メニューの流れ　（留守設定）

留守設定はメニュー設定で行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」（☛P44）を参照してください。留守設定メニューへの登録・設定は、各留守番停電電話機で行います。メニューの操作について（☛P19）

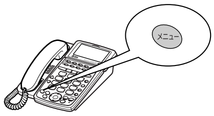


いろいろな機能を登録・設定するには（留守設定）

各留守番停電電話機では「留守設定」の登録・設定ができます。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

■各留守番停電電話機から登録・設定できる機能（留守設定）

1 カレンダ・時計表示を確認し、ハンドセットを置いたまま（メニュー）ボタンを押す。



2 メニューが表示されるので、（さDEF 3）を押す。

<ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機接続時>

1:共通設定
2:個別設定
3:留守設定

<ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプ接続時>

1:電話機毎設定
2:システム一括設定
3:留守設定

3 登録・設定内容に対応したダイヤルボタンを押す。

4 登録・設定を行う。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
用件全消去 録音されている用件をすべて消去します。 用件を消去している間は、電話をかけたり受けたりすることはできません。	1→1	0…（消去）しない 1…（消去）する	－
用件録音時間（☛P22） 1件あたりの用件録音時間を設定します。「無」に設定すると応答専用メッセージで応答します。	1→2	0…応答専用（無） 1…1件の録音時間（1分） 2…1件の録音時間（2分） 3…1件の録音時間（3分） 4…1件の録音時間（4分） 5…1件の録音時間（5分）	1：1分
留守応答着信回数（☛P22） 留守番電話が応答するまでの呼出音の回数を設定します。	1→3	0…トールセイバ 1～9…着信回数（1～9回）	0：トールセイバ
アキュムレート録音（☛P23） 一度、留守を解除して聞いた用件は消さずに、留守をセットできる機能です。	1→4	0…無し　1…有り	0：無し
外線別応答メッセージ（☛P40） 外線別に留守応答メッセージを使うかどうかを設定し、外線ごとに応答メッセージ1、2を設定します。	1→5	①0…無し　1…有り ②外線ごとに応答メッセージ1、2を選択する。お買い求め時は、応答メッセージ1が外線1～12に設定されています。ダイヤルボタンを押すと、応答メッセージ2に外線1～12が設定されます。外線10は0、外線11は＊、外線12は＃を押します。もう一度同じダイヤルボタンを押すと応答メッセージ1に外線1～12が設定されます。設定されていない外線は「-」で表示されます。 ③（決定）ボタンを押す。	①0：無し

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
応答回線種別（☛P24） 留守番電話が応答する回線を、外線着信、ダイヤルイン着信、内線着信それぞれに設定します。	1 → 6	①留守応答する外線をダイヤルボタンで押す。お買い求め時は、留守応答する外線が外線1～12に設定されています。ダイヤルボタンを押すと、押した番号の外線の設定が解除され、「-」で表示されます。外線10は 0 、外線11は ＊、外線12は ＃ を押します。もう一度同じダイヤルボタンを押すと留守応答する外線が設定されます。 ② 決定 ボタンを押す。 ③ダイヤルイン着信で留守応答をするかどうかを選択する。＊ 0 …無し　1 …有り ④内線着信で留守応答するかどうかを選択する。 0 …無し　1 …有り	①留守応答する外線1～12 ③1：有り ④1：有り
録音レベル設定（☛P39） 録音レベルを変更することができます。	1 → 7	0 …標準　1 …中 2 …大	0：標準
留守転送（☛P35） 留守転送を行うかどうか、留守用件の転送先の登録、転送に使う外線の設定を行います。	2 → 1	①留守転送を行うかどうかを選択する。 0 …無し　1 …有り ②留守転送先の電話番号をダイヤルボタンで入力（32桁まで）して 決定 ボタンを押す。 ③転送に使う外線をダイヤルボタンで入力して 決定 ボタンを押す。	①0：無し
留守モニタ（☛P37） 留守番電話に応答している相手の声をスピーカで確認するかどうかを設定します。	2 → 2	0 …無し　1 …有り	1：有り
リモート暗証番号（☛P29） 外出先から留守設定や転送設定などをリモコン操作するときに使う暗証番号を登録します。	2 → 3	①リモート暗証番号（3～6桁）をダイヤルボタンで押す。（消去するときは クリア ボタンを押す。） ② 決定 ボタンを押す。	−
在宅自動応答（☛P22） 留守セットを忘れたときに、外出先からリモコン操作できるかどうかを設定します。	2 → 4	0 …無し　1 …有り	1：有り
暗証スキップ（☛P40） 特定の電話番号を登録して、外出先からのリモコン操作時に暗証番号を使わずに操作するかどうかを設定します。	2 → 5	①暗証スキップ電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押す。（消去するときは クリア ボタンを押す。） ② 決定 ボタンを押す。	−

＊： 外線着信の音色を「メロディ」に設定している場合に、ダイヤルイン着信の留守応答を「有り」に設定すると、応答回線種別の設定にかかわらず外線着信に応答します。

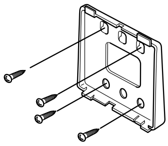
オプションをご利用になるには／付属品をご利用になるには

オプションをご利用になるには

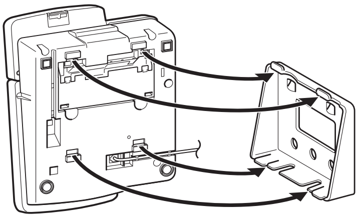
オプションの壁掛け用品をご利用になると、留守番停電電話機を壁に掛けてお使いいただけます。

■電話機を壁に取り付ける

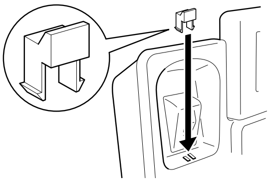
1. 壁掛け用品をネジで壁に取り付けます。



2. 電話機を壁掛け用品に取り付けます。
上側のツメをはじめに差し込み、次に下のツメを指で上にたわませながら差し込みます。



3. 壁掛け用品に添付されているハンドセット受けを電話機に取り付けます。



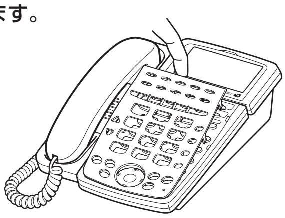
⚠注意

ご使用になる前に、確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると、重みでネジが抜けて電話機が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

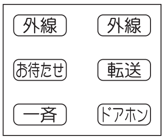
付属品をご利用になるには

■電話機用シールを使う／色違いのテンキーシートを使う

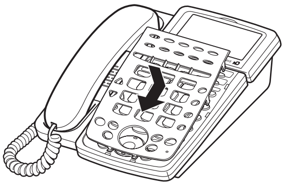
1. テンキーパネルの上側中央に指をかけ、上に引き上げます。



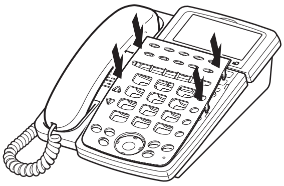
2. テンキーシートを取りだし、取りだしたテンキーシートまたは色違いのテンキーシートに、ワンタッチダイヤルに登録した相手先を記入します。
3. フレキシブルボタンに「外線」「転送」などを登録しているときは、テンキーシートに電話機用シールを貼り付けます。



4. テンキーシートをセットして、テンキーパネルの下側のツメを電話機に差し込みます。



5. テンキーパネルの左側および右側のツメを電話機に差し込みます。



■色違いのディスプレイシートを使う

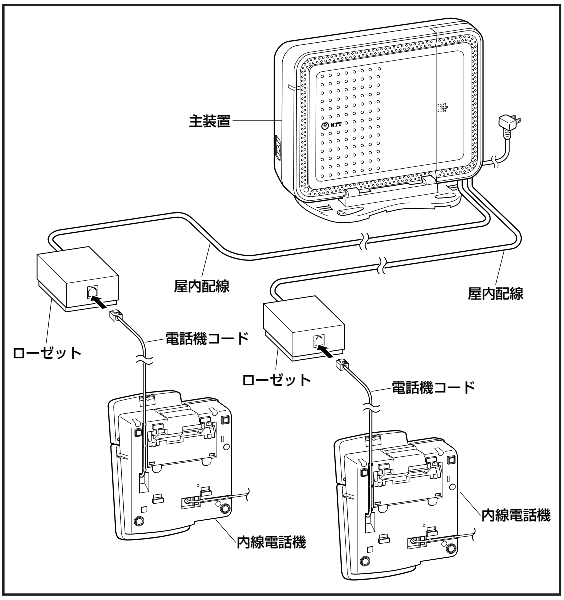
1. ディスプレイパネルの上側中央に指をかけ、上に引き上げます。

2. ディスプレイシートを取りだし、色違いのディスプレイシートをセットします。
※ ディスプレイには触らないでください。
3. ディスプレイパネルの左側のツメを電話機に差し込み、ディスプレイパネルの右側のツメを電話機に差し込みます。

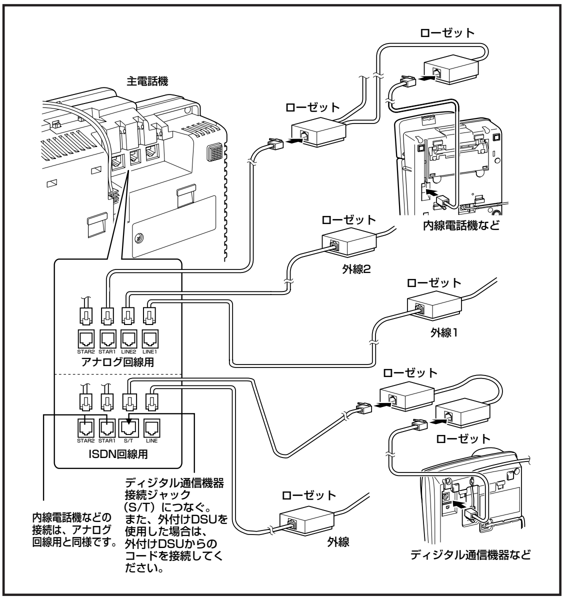
設置と接続について

本商品を最初に設置される場合や、内線電話機を増設されたり移設される場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。内線電話機とローゼットは、電話機コードで接続されていますが、お手入れするときなど、コードを外されて再度接続するときは、間違えないようにご注意ください。

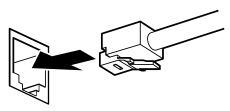
■ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置タイプとの設置と接続



■ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機との設置と接続

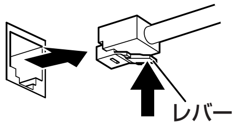


●ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

●ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

お知らせ

● 接続する場合、電話機コードを差し込んでから主装置の電源を入れてください。また、接続し直すときも同様の手順で接続してください。
● 実際の接続方法は使用する機器や設定する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、本図と異なる場合があります。

お願い

● 工事設定したスイッチは、設定変更しないでください。

ワンポイント

●内線番号を変更するときは
当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

●現在お使いの電話機などを接続するには
現在お使いの一般の電話機、コードレス電話機、留守番電話機、ファクス、モデムなどの接続については、必ず当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

こんな音がしたら

●こんな音がしたら

<table>
<tr><th></th><th>音</th><th>こんなときに…</th><th>音の意味</th></tr>
<tr><td rowspan="5">電話をかける／受ける</td><td>ツーツー…　（内線発信音）</td><td>ハンドセットを取りあげたとき、または内線ボタンを押したとき</td><td>他の内線電話機を呼び出せます</td></tr>
<tr><td>ツー　（外線発信音）</td><td>外線ボタンを押したとき</td><td>電話をかけられます</td></tr>
<tr><td>プーップーッ…　（話中音）</td><td>電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機が使用中のとき</td><td>お話し中です</td></tr>
<tr><td>プルルル…　（外線着信音）*</td><td>外の相手の方から電話がかかってきたとき</td><td>電話がかかってきています</td></tr>
<tr><td>ピルルル…　（停電時着信音）</td><td>停電中に外の相手の方から電話がかかってきたとき</td><td>電話がかかってきています</td></tr>
<tr><td rowspan="4">登録設定</td><td>ピー　（登録確認音）
（BXⅡ 主装置内蔵電話機接続時）</td><td rowspan="2">登録を受け付けたとき</td><td rowspan="2">登録されました</td></tr>
<tr><td>ピーまたはピピ　（登録確認音）
（BXⅡ 主装置タイプ接続時）</td></tr>
<tr><td>ピピピピピ　（登録エラー音）
（BXⅡ 主装置内蔵電話機接続時）</td><td rowspan="2">登録に誤りがあるとき</td><td rowspan="2">登録エラーがありました</td></tr>
<tr><td>ピピピピピピ　（登録エラー音）
（BXⅡ 主装置タイプ接続時）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>ピッ　（ダイヤル押下音）</td><td>ダイヤルボタンを押したとき</td><td>ダイヤルボタンが押されました</td></tr>
</table>

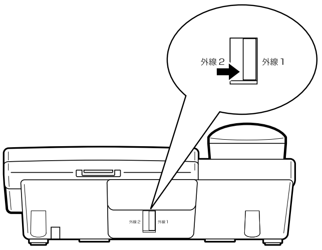
*：設定によりメロディや音を切り替えることができます。詳しくは、ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。

停電になったときは

停電中に電話をかけたり、受けたりするときは、留守番停電電話機をお使いください。
停電中に留守番停電電話機で電話をかけるときは、ダイヤルボタン以外のボタンを押しても利用することはできません。

[電話をかけるとき（アナログ回線）]

1 **電話機背面の停電切替スイッチを「外線1」または「外線2」に切り替える。**
ネットコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合は、「外線2」に切り替えてください。



2 **ハンドセットを取りあげる。**
「ツー」という発信音を確認してください。

3 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**

4 **相手の方が出たら、お話しをする。**

ワンポイント

● **ダイヤル回線（DP）のとき**
・再ダイヤル
[#] は再ダイヤルボタンとしてご利用いただけます。再ダイヤルは32桁までです。33桁以上ダイヤルすると再ダイヤルはできません。
・DP→PB切替
ダイヤル中に [＊] を押すと、ダイヤル後に約3.6秒間のポーズが挿入され、以降はPB信号が送出されます。DP→PB切替を行った場合の再ダイヤルは31桁までです。32桁以上ダイヤルすると再ダイヤルはできません。

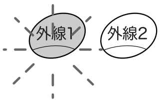
お知らせ

● ダイヤル回線（DP）で電話をかけると、外線ランプが点滅することがあります。
● 留守番停電電話機を2台使用されるときは、停電切替スイッチの設定が同じ場合、どちらでも回線につながります。また、ダイヤル回線（DP）で電話をかけると、2台とも外線ランプが点滅することがあります。

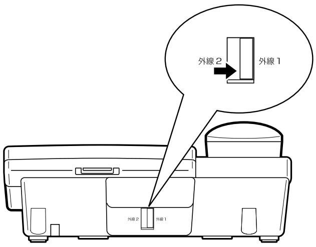
停電になったときは

[電話がかかってきたとき（アナログ回線）]

1 着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅したら…



2 **停電切替スイッチを点滅している外線に切り替える。**
点滅している外線ランプと停電切替スイッチの位置が同じときは、切り替える必要はありません。



3 ハンドセットを取りあげて、お話しをする。

ワンポイント

●**ISDN回線をお使いのときは**
・電話をかけるとき
ハンドセットを取りあげて、電話番号をダイヤルボタンで押して、電話をかけます。
・電話がかかってきたとき
着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて、お話しください。（外線ランプは点滅しません。）

●**発信者番号通知サービスをご利用になるときは**
発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

契約内容	発信者番号を通知する	発信者番号を通知しない
通常通知（通話ごと非通知）	相手の方の電話番号	[1][8][4]＋相手の方の電話番号
通常非通知（回線ごと非通知）	[1][8][6]＋相手の方の電話番号	相手の方の電話番号

INSネットサービスで「常時通知拒否」のご契約の場合、発信者番号は通知されません。電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合など、電話をかけられないことがあります。

停電時は、留守番機能やナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用できません。また、停電中は、すべての内線電話機のランプとディスプレイの表示が消えます。
留守番停電電話機では、電話をかけたり、受けたりすることはできますが、ダイヤルボタン以外のボタンを押して利用することはできません。

●停電時には以下のことにご注意ください

停電になったとき	アナログ回線用留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	<BXⅡ 主装置内蔵電話機接続時> 電話は切れます 停電になったとき、外線2でお話しをしていて、停電切替スイッチが「外線2」の場合、お話しは続けることができます
			<BXⅡ 主装置タイプ接続時> 電話は切れます 停電になったとき、停電切替スイッチ側の回線を使用していた場合、お話しは続けることができます
		保留中	<BXⅡ 主装置内蔵電話機接続時> 電話は切れます 停電になったとき、外線2を使用したハンドセットを取りあげた保留中で、停電切替スイッチが「外線2」の場合は通話中になり、お話しを続けることができます
			<BXⅡ 主装置タイプ接続時> 電話は切れます 停電になったとき、ハンドセットを取りあげた保留中で、停電切替スイッチ側の回線を使用していた場合は通話中になり、お話しを続けることができます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
	ISDN回線用留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	電話は切れます
		保留中	電話は切れます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
停電中	留守番停電電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげて、ダイヤルボタンを押してかけてください
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話しください
		電話がかかってきたときは（ナンバー・ディスプレイご利用時にアナログ回線用留守番停電電話機で受けるとき）	応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しができます
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
停電が復旧したとき	アナログ回線用留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	停電が復旧すると、電話が切れる場合があります
	ISDN回線用留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	停電が復旧すると、電話は切れます

お知らせ

- 停電中は、カレンダ・時計表示は消えますが、設定内容はそのままです。
- 停電中の着信音は、通常時とは異なります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。
★印の参照ページについては、お使いのネットトコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機／BXⅡ 主装置タイプの取扱説明書で確認してください。

●電話機（電話をかける／受ける）

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	★
	主装置または主電話機の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	★
一部の内線電話機が使えない	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	☛P47
ダイヤルできない	共通禁止番号が設定されている	故障ではありません	★
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	――
	着信音量が「切」になっている	着信音量を「大」「中」「小」のどれかにしてください	★
「ツー」という発信音が聞こえない	他の内線電話機が使用している	他の内線電話機のお話しが終わってからかけ直してください	――
共通電話帳が登録できない	主電話機以外の内線電話機から行っている ※	主電話機で登録してください ※	★
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	★
個別電話帳が登録できない	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	★
カレンダ・時計が設定できない	主電話機以外の内線電話機から行っている ※	主電話機で設定してください ※	★
内線で呼び出すと「プーップーッ…」という音が聞こえ、呼び出せない	相手の電話機がお話し中	故障ではありません	★
	内線番号が違う	内線番号を確認してください	――
内線で呼び出すと他の内線電話機の呼出音が鳴る	内線番号が違う	内線番号を確認してください	――
停電時に電話をかけられない	留守番停電電話機以外の内線電話機を使っている	留守番停電電話機でかけてください	☛P49
	留守番停電電話機の停電切替スイッチを切り替えていない	停電切替スイッチを「外線1」または「外線2」にしてください ネットトコミュニティシステムBXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合は、「外線2」に切り替えてください	☛P49

※：ネットトコミュニティシステム BXⅡ 主装置内蔵電話機に接続している場合

●電話機（留守番機能）

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
留守をセット／解除ができない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☛P24、25
応答メッセージ1で留守セットできない	応答メッセージ1が録音されていない（応答1ランプが消えている）	応答メッセージ1を録音してください	☛P27
	停電のため	故障ではありません	☛P51
留守セットしたとき、応答メッセージが聞こえない	応答メッセージを録音するとき、無音で録音した	もう一度、録音をやり直してください。応答メッセージ（無音）を消去し、再度録音をやり直してください	☛P27
	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	☛P38
応答メッセージ2で留守をセットできない	応答メッセージ2が録音されていない（応答2ランプが消えている）	応答メッセージ2を録音してください	☛P27
	留守をセットしたあと、応答メッセージ2を再生しなかった	留守をセットしたあとで、応答メッセージ2を再生してください	☛P24
	停電のため	故障ではありません	☛P51
応答メッセージを録音／再生／消去できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	――
留守中に応答しない	停電のため	故障ではありません	☛P51
内蔵の応答専用メッセージに変わる	用件が満杯なため	録音されている用件を確認してから消去してください	☛P24、26
用件がきちんと録音されない	相手の方の声が小さかったため	故障ではありません	☛P26
	相手の方が最初から約10秒間、何も話さなかったため	故障ではありません。最初から約10秒間、何も話されなかったら録音されずに用件は終了します	☛P26
	回線状態が悪いため	用件が不明瞭に聞こえますが、故障ではありません	――
	相手の方が何も話さずに電話を切った	故障ではありません	☛P26
	お話しの途中で録音が満杯になったため	故障ではありません	☛P24
用件が録音できない	用件録音時間の設定が「無」（応答専用）に設定されている	設定を変更してください	☛P44
	用件が59件録音されている	録音されている用件を確認してから消去してください	☛P24、26
	用件が合計で約15分録音されている	録音されている用件を確認してから消去してください	☛P24、26
用件を再生／消去できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	――

（つづく）

故障かな？と思ったら

（つづき）

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
留守をセットしていないのに応答する	在宅自動応答を「有り」にしている	応答しないようにするには、在宅自動応答を「無し」にしてください	☛P45
留守を解除したとき用件の件数がスピーカから流れない	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	☛P38
応答するまでの着信音の回数が違う	トールセイバに設定されている	留守応答着信回数の設定を変更してください	☛P44
留守転送しない	転送先の電話番号が登録されていない	転送先の電話番号を登録してください	☛P35
	転送をセットしていない（ディスプレイに「留守転送」の文字が表示されていない）	転送をセットしてください	☛P35
	転送先がお話し中のため	故障ではありません	☛P35
	転送先で電話に出なかったため	故障ではありません	☛P35
	用件がきちんと録音されていない	故障ではありません	☛P35
	用件が満杯になっていて、録音されていない	録音されている用件を確認してから消去してください	☛P26、35
	留守にセットしていない	留守にセットしてください	☛P24
転送されてきた用件を聞けない	転送先の電話でプッシュ信号を送ることができない	プッシュ信号を送ることのできる電話機を転送先にしてください	☛P36
居留守応答ができない	留守モニタを「無し」に設定している	留守モニタを「有り」に設定してください	☛P37、45
用件がすぐ満杯になる	アキュムレート録音を「有り」に設定している	アキュムレート録音を「無し」に設定してください	☛P44

●リモコン操作

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
外出先からのリモコン操作ができない	リモート暗証番号が登録されていない	リモート暗証番号を登録してください	☛P29
	プッシュ信号の出せる電話機で操作していない	プッシュ信号の出せる電話機で操作してください	☛P28
	リモート暗証番号を間違って押した	正しいリモート暗証番号を押してください	☛P40
	最初の # ボタンが認識されない	最初の # ボタンを応答メッセージが止まるまで長めに押してください	☛P28
	携帯電話を使って操作した	音声の再生が終わってから操作してください	☛P28

索　引

アルファベット

DP/PB切替スイッチ ……12

五十音

【ア行】

アキュムレート録音 ……23、44
暗証スキップ ……45
暗証スキップ電話番号 ……40
居留守応答 ……37
いろいろな機能を登録・設定する
　留守設定 ……44
応答1ボタン ……11
応答1ランプ ……14
応答2ボタン ……11
応答2ランプ ……14
応答回線種別 ……45
応答専用 ……22、24
応答専用メッセージ ……21
応答メッセージ
　外線別に応答メッセージを分ける ……40
　自作の応答メッセージ ……27
　内蔵の応答メッセージ ……22
お話しを録音する ……37
オプション ……46
音量調節ボタン ……11
音量を調節する ……38、39

【カ行】

外出先から用件を聞く ……30、32
外線着信音ミュート ……38
外線別応答メッセージ ……44
外線ボタン ……11
外線ランプ ……14
角度調節足 ……12、13
各部の名前 ……11
壁に取り付ける
　壁掛け用穴 ……12、13
　電話機を取り付ける ……46
機能ボタン ……11
クリアボタン ……11
決定ボタン ……11
決定ランプ ……14
工事者設定用スイッチ ……12、13
故障かな？と思ったら ……52
こんな音がしたら ……48

【サ行】

在宅自動応答 ……22、45
自作の応答メッセージを録音する ……27
自動応答 ……22
受話音量を調節する ……38
受話口 ……11
受話増機能 ……39
仕様 ……61
消去ボタン ……11
上下左右ボタン ……11
情報の消去 ……6
スピーカ ……11
スピーカ音量を調節する ……38
スピーカボタン ……11
スピーカランプ ……14
操作早見表 ……57
送話口 ……11

【タ行】

タイムスタンプ ……25、26
ダイヤルボタン ……11、19
ダイレクトリモコン ……32
　ダイレクトリモコン操作番号 ……33
対話形式で聞こえる音声 ……31
対話形式でリモコン操作をする ……30
短縮ボタン ……11
着信音量を切り替える ……38
着信履歴ボタン ……11
着信履歴ランプ ……14
通話中録音 ……37
ディスプレイ ……11
　ディスプレイの見かた ……16
　ディスプレイの文字表示例 ……17、18
ディスプレイシート ……10、46
停電切替スイッチ ……12、49、50
停電になったとき ……49
テンキーシート ……10、46
転送
　転送先で用件を受ける ……36
　転送先を登録してセットする ……35
　転送とは ……34
電話機コード差込口 ……12、13
電話機用シール ……10、46
電話帳ボタン ……11
電話をかける／受ける ……20
トールセイバ ……22、40

【ナ行】

内線ボタン ……11
内線ランプ ……14
内蔵の応答メッセージ ……21
ネットコミュニティシステム
　BXⅡ 主装置タイプとの設置と接続 ……47
　BXⅡ 主装置内蔵電話機との設置と接続 ……47

【ハ行】

発信履歴ボタン ……11
番号でできるリモコン操作 ……33
番号でリモコン操作をする ……32
ハンドセット ……11
ハンドセットコード ……11
ハンドセットコード差込口 ……12、13
付属品 ……10、46
フックスイッチ ……11

索　引

フックボタン ……………………………………11
フレキシブルボタン ……………………………11、26
フレキシブルボタンのランプ …………………14
保守サービスのご案内 …………………………62
保留ボタン ………………………………………11
本体 ………………………………………………10

【マ行】
マイク ……………………………………………11
マイクボタン ……………………………………11
マイクランプ ……………………………………14
メニュー
　項目の選択方法 ………………………………19
　メニュー画面での操作 ………………………19
　メニューの操作 ………………………………19
メニューの流れ
　留守設定 ………………………………………43
メニューボタン …………………………………11
戻るボタン ………………………………………11

【ヤ行】
用件
　外出先から用件を聞く ……………………30、32
　外出先へ転送する ……………………………34
　転送先で用件を受ける ………………………36
　転送先を登録してセットする ………………35
　用件全消去 ……………………………………44
　用件録音時間 …………………………………44
　用件を聞く ……………………………………26
　用件を消去する ………………………………26
　録音可能時間を確認する ……………………41

【ラ行】
ランプの表記 ……………………………………15
リモート暗証番号 ………………………………45
　リモート暗証番号を消去する ………………29
　リモート暗証番号を登録する ………………29
　リモート暗証番号を変更する ………………29
　リモート暗証番号を間違えたとき …………40
リモコンカード …………………………………59
リモコン操作 ……………………………………28
　ダイレクトリモコン操作番号 ………………33
　対話形式でリモコン操作をする ……………30
　番号でリモコン操作をする（ダイレクトリモコン）‥32
　リモコン操作でできること …………………28
留守応答着信回数 ………………………………22、44
留守設定 …………………………………………43、44
留守操作表示ランプ ……………………………14
留守操作ボタン …………………………………11
留守操作モード …………………………………25、26
留守転送 …………………………………………35、45
留守番電話
　内蔵の応答メッセージ ………………………21
　留守番電話の便利な使いかた ………………22
　留守番電話を解除する ………………………25
　留守番電話をセットする ……………………24
　録音可能時間を確認する ……………………41
　録音された用件を聞く ………………………26
留守ボタン ………………………………………11、24
留守モニタ ………………………………………45
留守ランプ ………………………………………14
録音可能時間を確認する ………………………41
録音された用件を聞く …………………………26
録音レベル設定 …………………………………39、45

操作早見表 NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

記号説明

		[メニュー] [決定]	[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [＊] [0] [＃]
ハンドセットを取りあげます	ハンドセットを置きます	各ボタンを押します	ダイヤルボタンを押します

留守番電話として使う

項　目	操　作　手　順
留守にセットする／解除する	[留守]
用件1件あたりの録音時間を設定する	[メニュー] ➡ [3] ➡ [1] ➡ [2] ➡ （用件録音時間） [0]…無（応答専用）　[1]…1分 [2]…2分　[3]…3分 [4]…4分　[5]…5分
応答メッセージを外線ごとに設定する	[メニュー] ➡ [3] ➡ [1] ➡ [5] ➡ （外線別応答メッセージ選択） [0]：無し（解除） [1]：有り ➡ 応答2で応答する外線番号を選択 [1] ～ [9]、[0]、[＊]、[＃] ➡ [決定]
留守応答着信回数を設定する	[メニュー] ➡ [3] ➡ [1] ➡ [3] ➡ （留守応答着信回数） [0]…トールセイバ　[1]…1回 [2]…2回　[3]…3回 [4]…4回　[5]…5回 [6]…6回　[7]…7回 [8]…8回　[9]…9回
在宅自動応答を設定する	[メニュー] ➡ [3] ➡ [2] ➡ [4] ➡ （在宅自動応答） [0]：無し [1]：有り
アキュムレート録音を設定する	[メニュー] ➡ [3] ➡ [1] ➡ [4] ➡ （アキュムレート録音） [0]：無し [1]：有り
用件を再生する	[留守操作] ➡ [再生] ➡ 用件をもう一度聞く [戻し] 用件をとばして次の用件を聞く [送り] 用件を消去する [消去] ➡ [停止] ➡ [留守操作] 再生を途中で止める [停止] ➡ [留守操作]

Netcommunity SYSTEM BXII 留守番停電電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

項目	操作手順
用件を消去する	消去する用件の再生中に [消去]
用件をすべて消去する	(メニュー) ➡ [3] ➡ [1] ➡ [1] ➡ （用件全消去） [0]：しない / [1]：する または [消去] を押しながら [留守]
応答メッセージを録音する	[応答1] または [応答2] ➡ ➡ 録音が終わったら [#] ➡
応答メッセージを再生する	[応答1] または [応答2] ➡ 再生が終わったら [#]
応答メッセージを消去する	[消去] を押しながら [応答1] または [応答2]
リモート暗証番号を登録する	(メニュー) ➡ [3] ➡ [2] ➡ [3] ➡ [1][2][3][4][5][6][7][8][9][0] （リモート暗証番号 3〜6桁の数字） ➡ (決定)
暗証スキップ番号を登録する	(メニュー) ➡ [3] ➡ [2] ➡ [5] ➡ [1][2][3][4][5][6][7][8][9][＊][0][#] （暗証スキップ電話番号） ➡ (決定)
用件の転送先電話番号を登録してセットする／解除する	(メニュー) ➡ [3] ➡ [2] ➡ [1] ➡ （留守転送選択） [0]：無し（解除） / [1]：有り ➡ [1][2][3][4][5][6][7][8][9][＊][0][#] （転送先電話番号） ➡ (決定) ➡ （転送に使う外線番号） [1] 〜 [9]、[0]、[＊]、[#] ➡ (決定)

Netcommunity SYSTEM BXII

留守番停電電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

項目	操作手順
転送先で用件を受ける	転送先電話のハンドセットを取りあげる ➡ ⊞ ➡ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪（リモート暗証番号 3～6桁の数字）➡ ⊞ ➡ 用件が再生される
通話中にお話しを録音する	通話中に ➡ [留守操作] ➡ [録音] ➡ お話しを録音する ➡ 録音が終わったら [停止]
留守モニタを設定する	(メニュー) ➡ [さDEF 3] ➡ [かABC 2] ➡ [かABC 2] ➡ （留守モニタ）[わをん記号 0]：無し [あ 1]：有り
留守応答する回線を設定する	(メニュー) ➡ [さDEF 3] ➡ [あ 1] ➡ [MNO 6] ➡ （外線着信選択）[あ 1]～[らWXYZ 9]、[わをん記号 0]、[＊]、[#] ➡ (決定) ➡ （ダイヤルイン着信選択）[わをん記号 0]：無し [あ 1]：有り ➡ （内線着信選択）[わをん記号 0]：無し [あ 1]：有り

■リモコンカード

Netcommunity SYSTEM BXII

留守番電話のリモコン操作

NTT

この操作は必ずプッシュホン（またはプッシュ信号を送ることのできる電話機）で行ってください。

1 ネットコミュニティシステム BXⅡに電話をかけます。

2 応答メッセージが聞こえたら、
⊞、リモート暗証番号（3～6桁）□□□□□□、⊞ を押します。

- 最初の ⊞ は応答メッセージが止まるまで十分長めに押すか、押し直してください。
- 現在の曜日・時刻・件数および用件が再生されます。
  再生が終わると「対話形式でリモコンを行う場合は ⊞ ① ⊞ を、直接リモコンを行う場合は ⊞ ④ ⊞ を、リモコンを終了する場合は ⊞ ⓪ ⊞ をどうぞ。」が聞こえます。

3 続けて操作するとき

① 対話形式でリモコン操作する場合は、⊞ ① ⊞ を押し、聞こえてくる音声にしたがって、実行なら ⊞ ① ⊞、スキップなら ⊞ ③ ⊞ を押します。

② ダイレクトリモコン操作をする場合は、⊞ ④ ⊞ を押し、裏面のダイレクトリモコン操作一覧をご参照ください。

4 電話を切るときは ⊞ ⓪ ⊞ を押します。

Netcommunity SYSTEM BXII | 留守番停電電話機 | # 操作早見表 NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

Netcommunity SYSTEM BXII

留守番電話のリモコン操作

NTT

■ダイレクトリモコン操作一覧

用件再生 ………………………… ② ⊞
用件戻し（用件を再生中に）… ① ⊞
用件送り（用件を再生中に）… ③ ⊞
用件消去（用件を再生中に）… ⑧ ⊞
留守解除 ………………………… ⊛ ⊞
動作停止（用件を再生中に）……… ⊞
最初の音声に戻る ………… ⊞ ⑨ ⊞
リモコン操作終了 ………… ⊞ ⓪ ⊞

■留守のセットを忘れたら

外出先から電話をかける→着信後50秒経過する→応答専用メッセージが聞こえたら、⊞、リモート暗証番号、⊞ を押す→設定されている応答メッセージに続いてメニューガイダンスが聞こえる→ ⊞ ⓪ ⊞ を押して電話を切るか、続けてリモコン操作を行う。

仕　様

■仕　様

寸法・質量	幅約190 mm×奥行き約241 mm×高さ約85 mm・約0.95 kg
使用環境	温度：5 ℃～35 ℃ 湿度：45 %～85 %（結露のないこと）
録音時間	最大録音時間：約15分（通話中録音，応答メッセージを含む）

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。「保証書」は主装置内蔵電話機または主装置等に添付されています。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。
※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。
受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413
携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）
受付時間　9：00～17：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-248995
受付時間　9：00～17：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

920319A1

環境基準ラベル「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞

- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

- ●製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- ●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞

- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞

- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定商品です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413
携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～17：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-248995

受付時間　9：00～17：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2011 NTTEAST・NTTWEST

本3140-1(2011.2)
BX2-RPTELトリセツ-〈1〉